

Shizuoka Seiki

良食味米育成支援システム

GTRice シリーズ

取扱説明書



 **静岡製機株式会社**

目次

1. 主要諸元	1
2. インストールおよびセットアップ	5
(1) インストール前の設定確認	6
(2) USB シリアル変換アダプタ (REX-USB60F) ドライバのインストール	8
(3) バーコードタッチスキャナ用ドライバのインストール.....	8
(4) GTRice のインストール.....	11
(5) メイン画面_「D. 各種タブ情報欄」の設定	14
(6) 食味分析計のセットアップ	17
(7) 穀粒判別器のセットアップ	18
(8) バーコードタッチスキャナ (オプション) のセットアップ.....	19
(9) 管理システム名とデータファイル名の決定	19
(10) 通信の設定	20
3. 各バージョンの操作一覧表	21
(1) 営農指導版	21
(2) データ管理版	22
(3) 食味分析計版	23
(4) 流通版	24
4. 画面設定	25
(1) GTRice の起動.....	25
(2) 測定条件設定	29
5. 測定データの表示・印刷・保存	43
(1) 測定結果の表示	43
(2) 測定結果の印刷	46
(3) 測定データの保存	54
6. 各メニューバーの項目説明	55
(1) ファイル	55

[1] データベースの作成	55
[2] データベース選択	56
[3] データファイルの新規作成	57
[4] データファイルを開く	57
[5] データファイルに名前をつけて保存.....	58
[6] データファイルの削除	58
[7] プリンタ設定	59
[8] 終了	59
(2) データファイル入出力	60
[1] 外部データファイルの読み込み	60
[2] 外部への出力	62
(3) 編集(各種マスタ)	63
[1] 参照マスタ編集	63
[2] 生産者マスタ編集	65
[3] 肥料マスタ編集	69
[4] ランクマスタ編集	71
[5] 表示しているデータの削除	72
[6] 一覧削除	72
[7] データ検索	73
(4) 印刷(測定結果の印字)	74
[1] 単票印刷	74
[2] 日報印刷	76
(5) 設定(各種条件設定)	77
[1] 自動採番設定	77
[2] 機器・通信設定	78
[3] システム設定	79
7. 診断書のコメント表示	82

(1) 診断書に表示されるコメントについて	82
8. トラブルシューティング	85
連絡先	90

1. 主要諸元

品名：良食味米育成支援システム (GTRice)

対応機器

食味分析計 (BR/AG、TM3500、SGE/SRE、TMX-1)

穀粒判別器 (ES-1000、ES-V、ES-5)

バーコードタッチスキャナ(※オプション)

システム要件

・ Microsoft Office 2019、2021

	対応 OS	CPU	メモリ	ハード ディスク	ディス プレイ	USB ポート
必要 スペック	Windows10 (64 ビット)	Core i3 2GHz 以上	4 GB 以上	10.0 GB 以上の ディスク 空き容量	1366 ×768 以上	5 ポート以上 (USB ハブ を含む)
推奨 スペック	Windows11 (64 ビット)	Core i5 2GHz 以上	8GB 以上			

・ Microsoft Office 2016

	対応 OS	CPU	メモリ	ハード ディスク	ディス プレイ	USB ポート
必要 スペック	Windows10 (64 ビット)	1.6GHz 以上	2 GB 以上	10.0 GB 以上の ディスク 空き容量	1366 ×768 以上	5 ポート以上 (USB ハブ を含む)
推奨 スペック		マルチコア 2GHz 以上	8GB 以上			

必要ソフトウェア：デスクトップ版の Microsoft Excel 2016、2019、2021

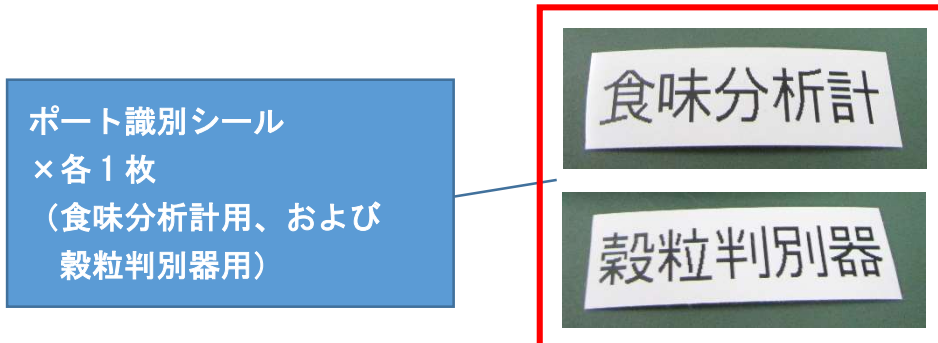
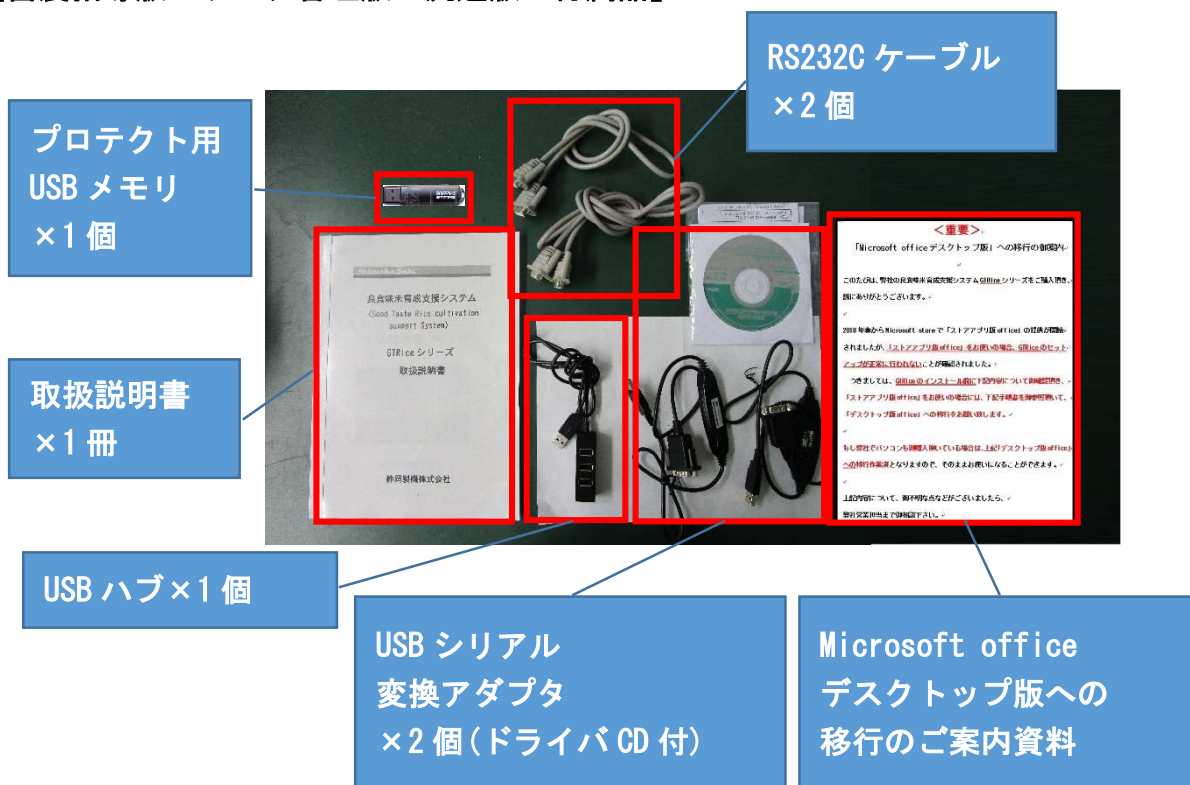
※ストアアプリ版 Microsoft Office は使用できません。

※Microsoft Excel 2013 以前のバージョン、

および Microsoft Office 365 は使用できません。

付属品 : プロテクト用 USB メモリ 1 個
USB シリアル変換アダプタ
RS232C ケーブル
USB ハブ 1 個
取扱説明書 1 冊
ポート識別シール
Microsoft office デスクトップ版への移行のご案内資料

【営農指導版・データ管理版・流通版の付属品】

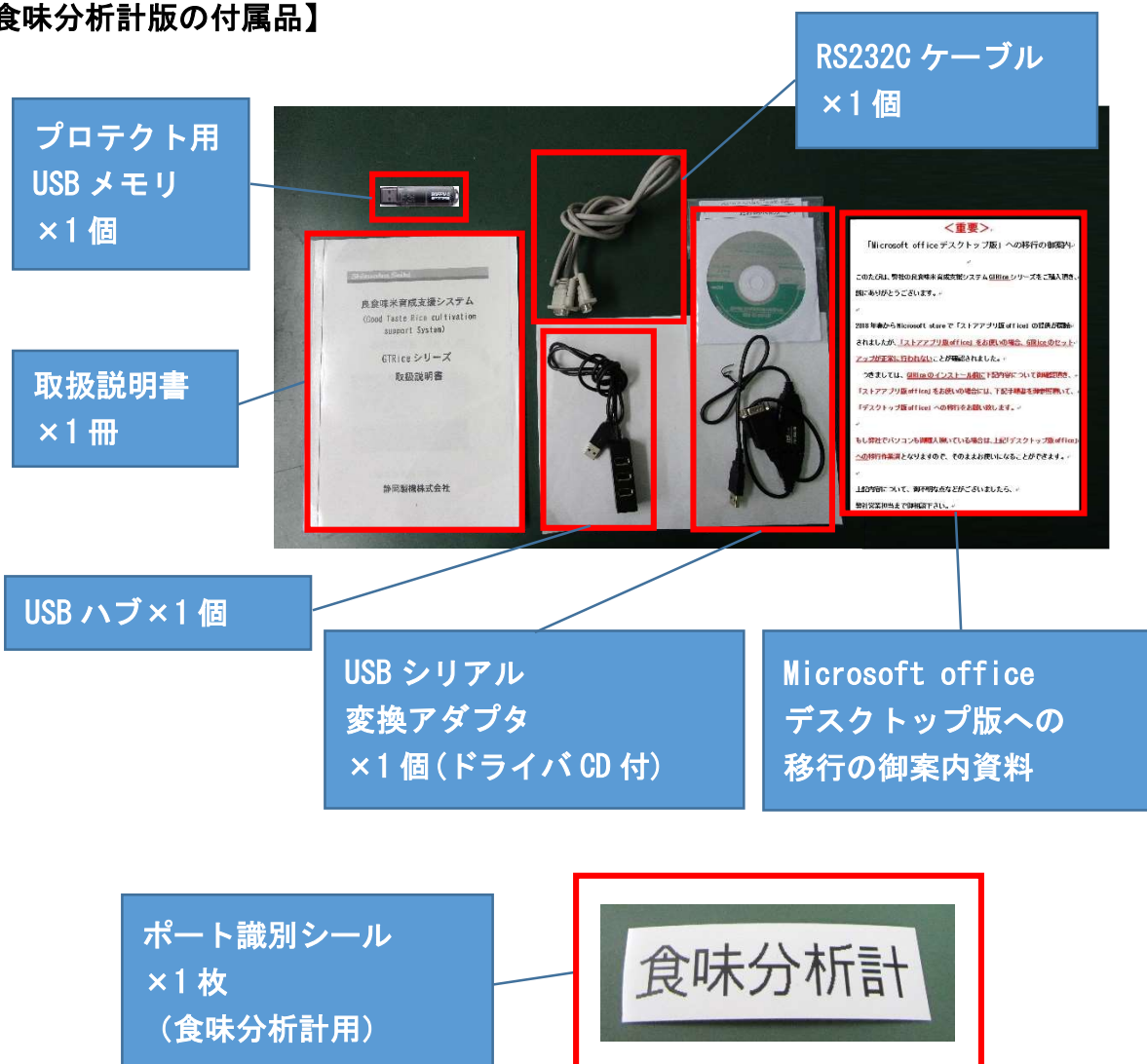


注意

本品をインストールする場合は、お手持ちのパソコンに測定器（食味分析計、穀粒判別器）およびオプション品（バーコードタッチスキャナ）が接続されていないことをご確認ください。

すでに測定器およびオプション品が接続されている場合には、パソコンを一度シャットダウンし、測定器およびオプション品の接続ケーブルをパソコンから抜いた後、インストール作業を実施してください。

【食味分析計版の付属品】



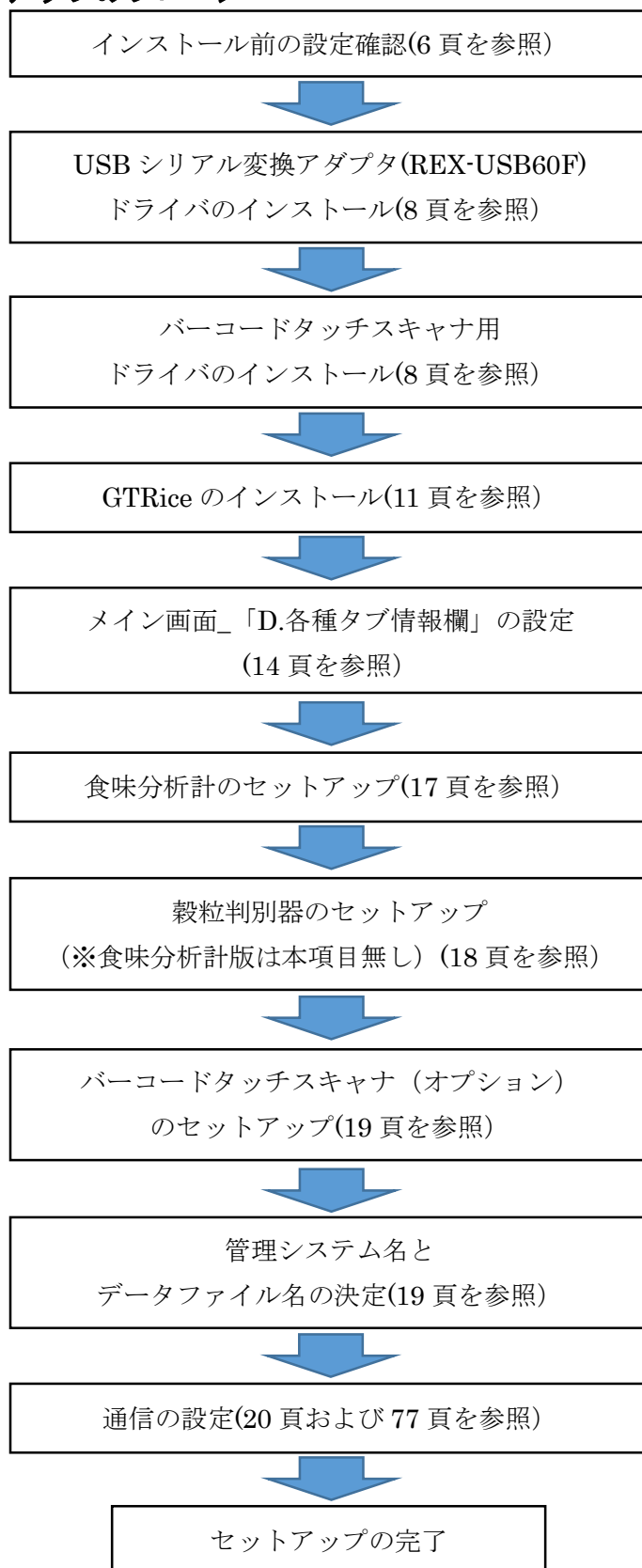
注意

本品をインストールする場合は、お手持ちのパソコンに食味分析計、およびオプション品（バーコードタッチスキャナ）が接続されていないことをご確認ください。

すでに測定器およびオプション品が接続されている場合には、パソコンを一度シャットダウンし、測定器およびオプション品の接続ケーブルをパソコンから抜いた後、インストール作業を実施してください。

2. インストールおよびセットアップ

<セットアップのフロー>



(1) インストール前の設定確認

ディスプレイの解像度と文字については、予め前頁のシステム要件に示したサイズに設定してください。

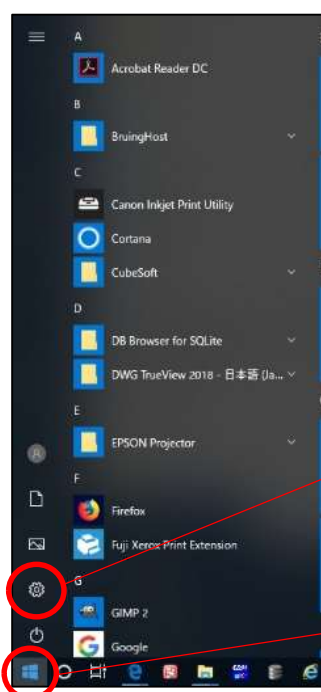
(ディスプレイ:1366 × 768 以上の解像度

(DPI:96 かつ画面上の文字 100%))

お使いのパソコンで文字のサイズを大きく設定している場合は、文字サイズを 100%に戻してください。

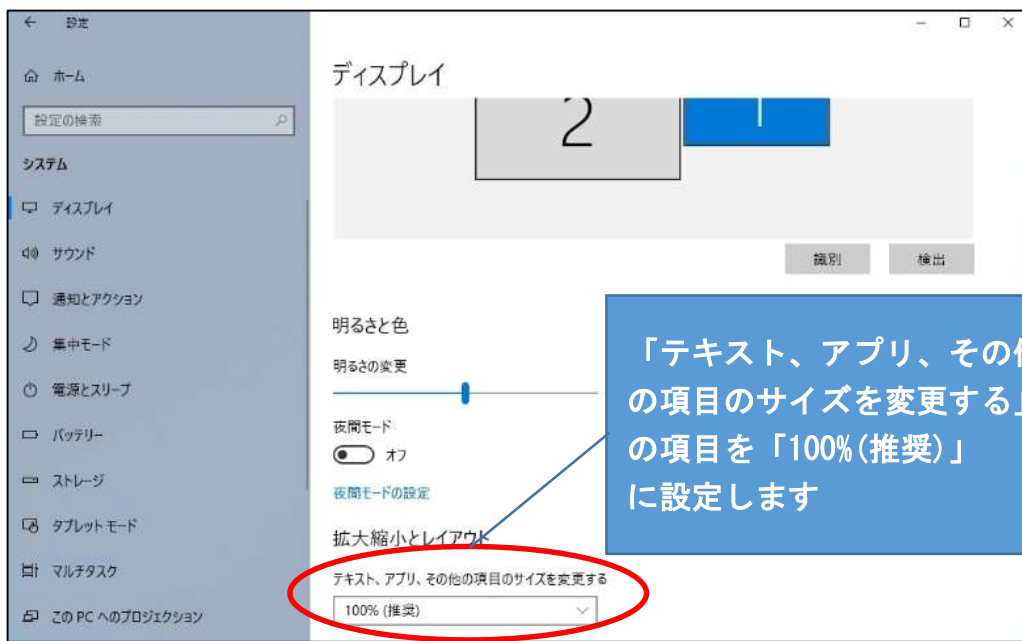
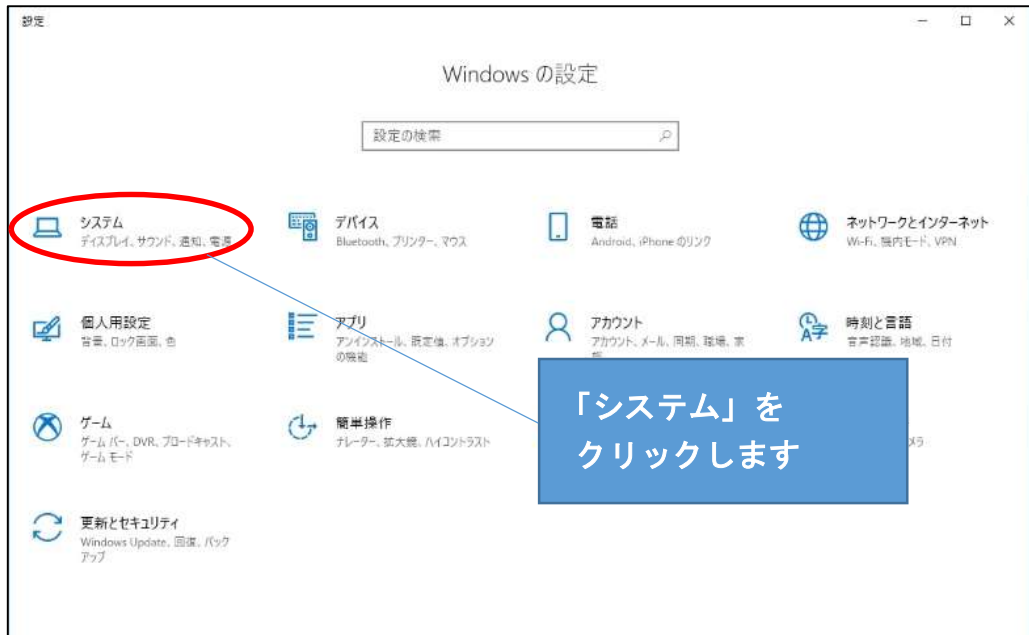
【文字サイズの変更方法】

・ Windows10 の場合



② 「設定」をクリックします

① 画面左下にある「スタートボタン」をクリックします



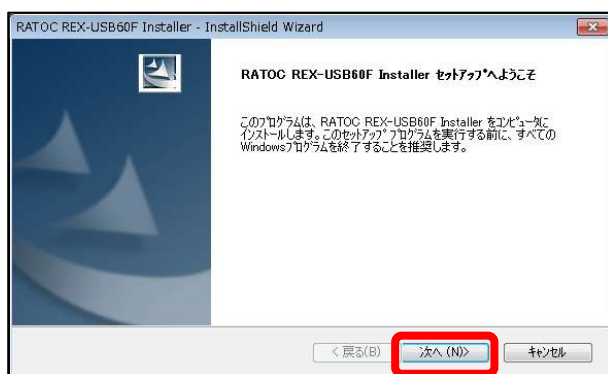
注意

GTRice 使用時（インストール時を含む）は、常にプロテクト用 USB メモリをお使いのパソコンの USB ポートに取り付けておくようにしてください。

また、プロテクト用 USB メモリは紛失しないようにしてください。万一紛失した場合には、再発行が必要となります（※有償）。

(2) USB シリアル変換アダプタ (REX-USB60F) ドライバのインストール

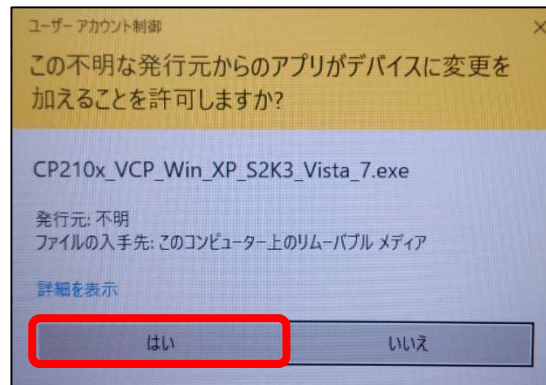
- ① USB メモリ内の GTRice_Setup フォルダをダブルクリックで開きます。
- ② USB シリアル変換アダプタフォルダの「USB60F_Setup」をダブルクリックして起動します。画面表示に従ってインストール作業を進めてください。
- ③ 変更の許可とインストールを求められますので「はい」をクリックします。



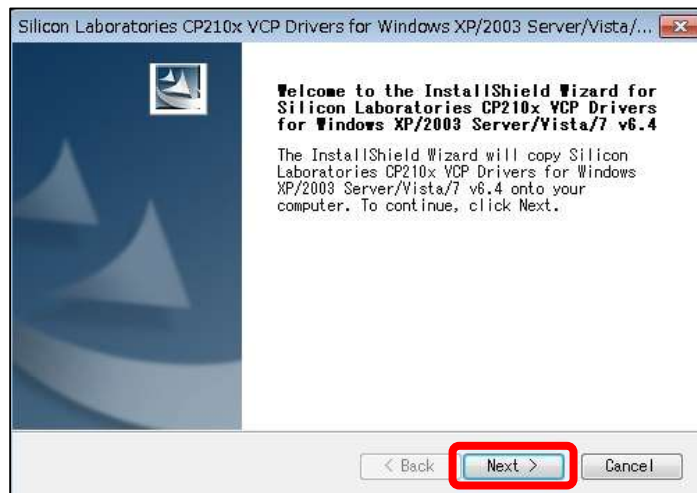
オプション品のバーコードタッチスキャナをご使用になる場合は、以下の手順にて、ドライバのインストールを行ってください。使用しない場合は「(4) GTRice のインストール」に進んでください。

(3) バーコードタッチスキャナ用ドライバのインストール

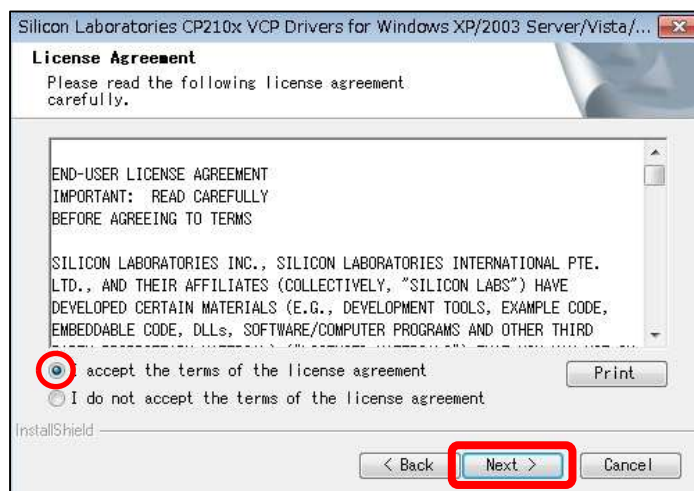
- ① その USB メモリ内の GTRice_Setup フォルダをダブルクリックで開き、バーコードリーダーフォルダにある「CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7」をダブルクリックして起動します。変更の許可を求められますので、「はい」をクリックしてください。



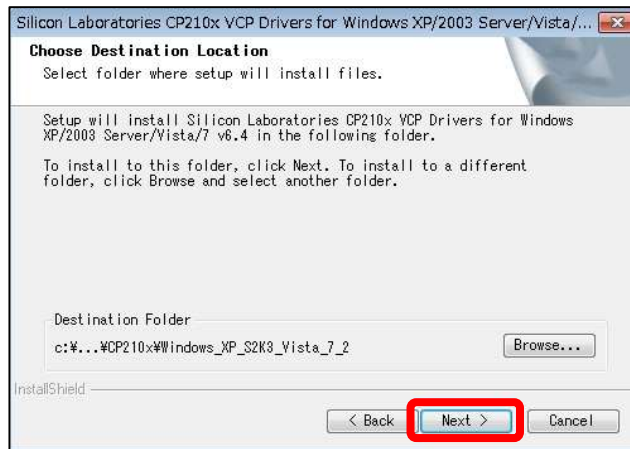
- ② 下記の手順にて、バーコードタッチスキャナ用のドライバをインストールしてください。



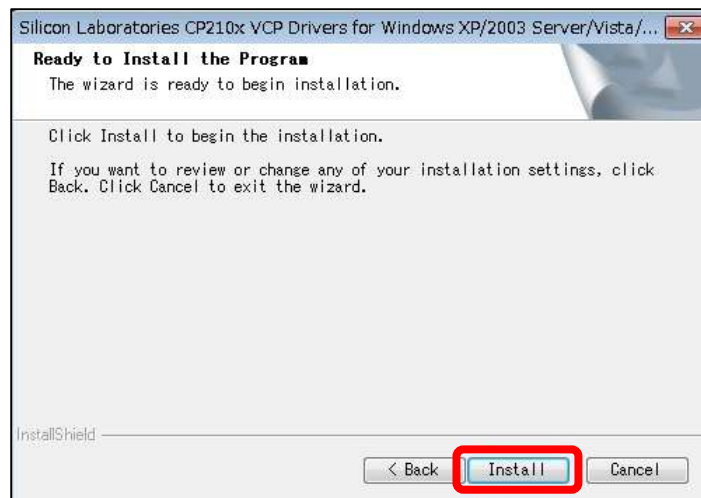
- ③ 下記画面上の項目 (I accept...) にチェックを入れ、「Next」をクリックしてください。



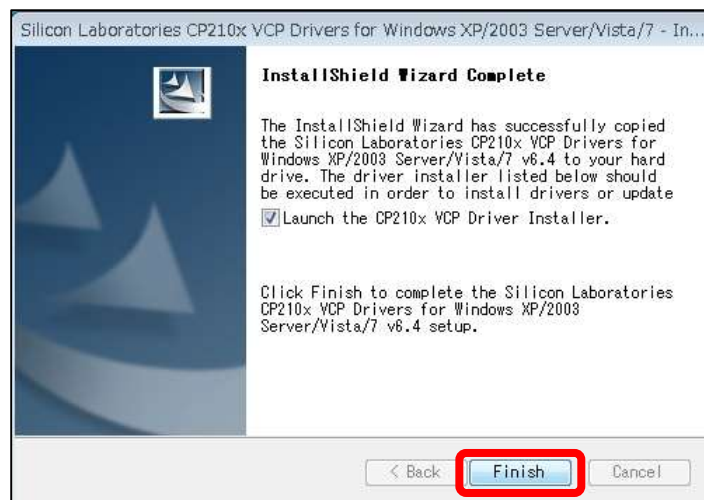
④ 「Next」 をクリックしてください。



⑤ 「Install」 をクリックしてください。



⑥ 「Finish」 をクリックしてください。



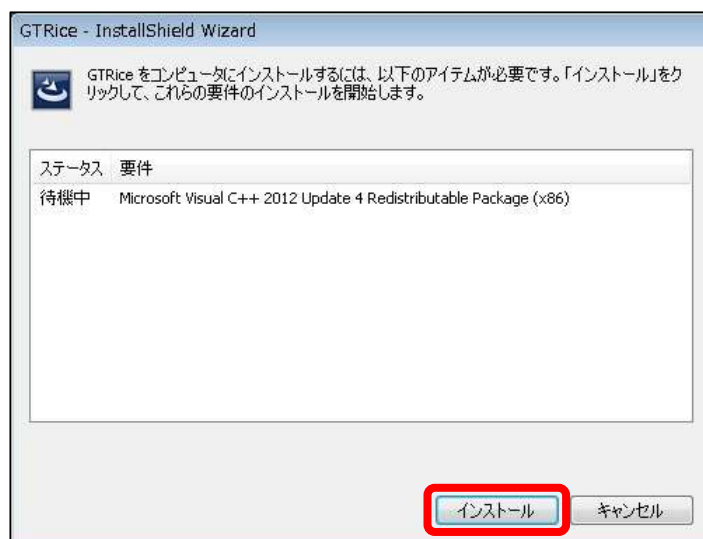
⑦ 「Install」 をクリックしてください。



(4) GTRice のインストール

USB メモリ内の GTRice_Setup フォルダにあるインストーラ (setup) をダブルクリックして起動し、以下の手順にてインストールしてください。

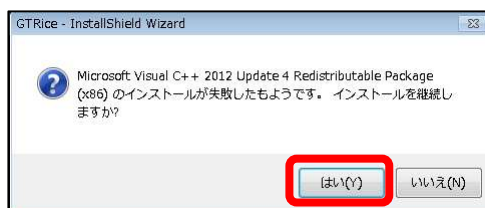
① 「インストール」 をクリックしてください。



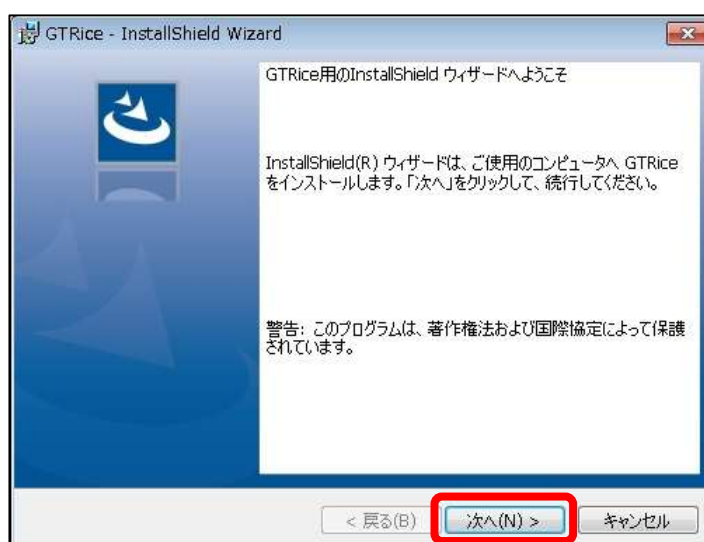
② 変更の許可を求められますので、「はい」 をクリックしてください。



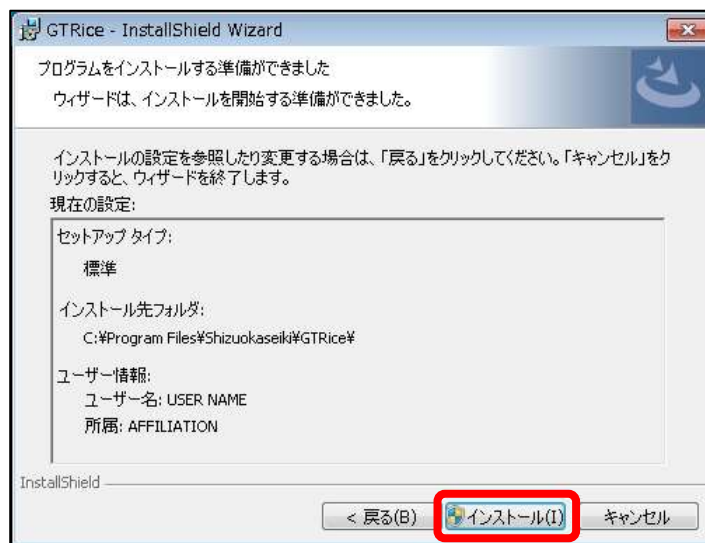
既にインストールされている場合には、下記メッセージが表示されますが、「はい」をクリックし、インストールを継続してください。



③ 「次へ」をクリックしてください。



④ 「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。
下図のユーザー情報の項目には、
お使いのパソコンのユーザー情報が表示されます





⑤変更の許可を求められますので、「はい」をクリックしてください。



⑥「完了」をクリックすると、インストールが完了します。



(5) メイン画面_「D. 各種タブ情報欄」の設定

「GTRice」のインストールが完了しますと、メイン画面に表示する「D:各種タブ情報欄」の各項目を変更または追加することができます。

「D. 各種タブ情報欄」の設定を行います

D. 各種タブ情報欄

食味成分・特性値	劣	普	良
水分	%		
タンパク	%		
アミロース	%		
脂肪酸度			
スコア			

分類	劣	普	良
精粉	%		
活青粒	%	他整粒	%
未熟粉	%		
乳白粒	%	青未熟	%
穀類	%	糠白	%
他未計	%	やせ	%
ぬじれ	%	粒崩れ	%
薄茶系	%	他未熟	%
発芽粒	%		
発芽粒	%		
糠一乗	%	糠二乗	%
扇形粒	%	茶米	%
粒粒	%		
斑点粒	%		
死米	%		
青死米	%	白死米	%
白死米	%		
全着着	%	部分着	%
赤米	%		
その他	%		
他雑害	%		

メイン画面の構成につきましては、後述の「4. 画面設定」

「GTRice メイン画面の説明」をご覧ください。

項目を変更または追加する必要がない場合には、「次へ」をクリックし、次の設定画面へ進んでください。

デスクトップに作成された GTRice のショートカットアイコンをダブルクリックして、GTRice ソフトを起動します。

購入いただきましたバージョンが表示されます。

お手持ちの測定器がパソコンに接続されていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。

【ショートカットアイコン】



システムセットアップ

インストールシステム

- 営農指導版
- データ管理版
- 食味分析計版
- 流通版

【セットアップ開始の前に】
お手持ちの測定器をパソコンに接続している場合には、パソコンから取り外したうえで、セットアップを開始して下さい。

戻る 次へ

① 「生産者情報」の表示名称の設定

右側に表示例を示してあります。表示名称を変更したい場合は、下図の赤枠内の項目を変更してください。

＜＜本項目機能は「流通版」には搭載されていません。＞＞

システムセットアップ (生産者情報設定)

生産者情報タブに表示するデータ名を変更することが出来ます。

生産者名	生産者名
JA名	JA名
JA支所名	JA支所名
地区名	地区名
住所	住所
電話番号	電話番号

戻る 次へ

② 「自由項目」の表示名称の設定

新しく管理したい項目を自由項目として最大 10 項目まで追加することができます。

＜＜営農指導版・データ管理版・食味分析計版の場合＞＞

管理したい項目を追加する場合は、下図の赤枠内にタブ名称および管理したい項目の名称（表示名）を入力してください。

変更後は、表示内容を確認後、「次へ」をクリックしてください。

項目を変更または追加する必要がない場合には、「次へ」をクリックし、次の設定画面へ進んでください。

システムセットアップ (ユーザータブ情報設定)

自由項目を最大10項目まで、表示名を入力して「次へ」をクリックすることで追加できます
自由項目を追加する場合は、タブの名称も入力してください。
自由項目が不要な場合には、空欄のまま「次へ」をクリックしてください。

タブ名称

表示名1	
表示名2	
表示名3	
表示名4	
表示名5	
表示名6	
表示名7	
表示名8	
表示名9	
表示名10	

戻る 次へ

<<流通版の場合>>

流通版では予め項目とタブの名称にデフォルトの名称が入っています。
変更が必要な場合には、下図の赤枠内の項目を変更してください。
変更後は、表示内容を確認後、「次へ」をクリックしてください。
項目を変更または追加する必要がない場合には、「次へ」をクリックし、次の設定画面へ進んでください。

システムセットアップ (ユーザータブ情報設定)

自由項目を最大10項目まで、表示名を入力して「次へ」をクリックすることで追加できます
自由項目を追加する場合には、タブの名称も入力してください。
自由項目が不要な場合には、空欄のまま「次へ」をクリックしてください。

タブ名称 自由項目

表示名 白度
表示名 千粒重(g)
表示名 容積重(g/l)
表示名 胚芽残存(%)
表示名 水浸害残(%)
表示名 湿度(ppm)
表示名 鮮度
表示名 備考IV
表示名 備考V
表示名 備考VI

生産者情報 | 圃場情報 | 土壌管理 | 施肥情報 | 自由項目 | コメント | 画像

表示名 1	
表示名 2	
表示名 3	
表示名 4	

戻る 次へ

③各種タブ情報の使用選択

営農指導版では、各種タブ情報を選択することが出来ます。
管理したいタブ項目欄に☑を入れてください。

<<本項目機能は「営農指導版」のみ有効です。>>

システムセットアップ (タブ情報)

使用するタブにチェックを入れて、「次へ」をクリックしてください。

"圃場情報" 使用する
 "土壌管理" 使用する
 "施肥情報" 使用する
 "コメント記入" 使用する
 "画像表示" 使用する

生産者情報 | 圃場情報 | 土壌管理 | 施肥情報 | コメント | 画像

産年△		
収量		kg/ha
ほ場番号		
土壌群名△		
土改材名△		
土改材投入量		kg
稲葉処理△		
有機投入量		kg/ha
育苗様式△		
倒伏有無△		
栽植密度 (ca)		cm
栽植密度 (株/坪)		株/坪
病害虫△		
備考 1		
備考 2		
備考 3		

戻る 次へ

(6) 食味分析計のセットアップ

以下の手順にて食味分析計のセットアップをしてください。



- I. 食味分析計の使用の有無 (YES/NO) を選択してください。
- II. 食味分析計を使用する場合は、使用機種を選択してください。
- III. 食味分析計をパソコンに接続してください。

測定器は USB ハブを介さず、直接パソコンの USB ポートに接続するようにしてください。

接続後、「次へ」をクリックしますとポートを自動検出します。
(検出したポートの番号が「接続ポート」欄に表示されます。)

- IV. ポートの自動検出後、「次へ」をクリックすると食味分析計のセットアップが完了して次の設定に進みます。

ポート番号は、各測定器をパソコンのどの USB ポートに接続するかで変わります。

測定器毎に使用ポートを固定することをお勧めします。
食味分析計を接続しているパソコンの USB ポート付近に、
付属のポート識別シール(食味分析計用、下図参照)を
目印として貼り付けてください。

【食味分析計用のポート識別シール】



(7) 穀粒判別器のセットアップ

＜＜本項目機能は「食味分析計版」には搭載されていません。＞＞



- I. 穀粒判別器の使用の有無 (YES/NO) を選択してください。
- II. 穀粒判別器を使用する場合は、使用機種を選択してください。
- III. 穀粒判別器をパソコンに接続してください。

測定器は USB ハブを介さず、直接パソコンの USB ポートに接続するようにしてください。

接続後、「次へ」をクリックしますとポートを自動検出します。
(検出したポートの番号が「接続ポート」欄に表示されます。)

- IV. ポートの自動検出後、「次へ」をクリックすると穀粒判別器のセットアップが完了して次の設定に進みます。

ポート番号は、各測定器をパソコンのどの USB ポートに接続するかで変わります。

**測定器毎に使用ポートを固定することをお勧めします。
穀粒判別器を接続しているパソコンの USB ポート付近に、
付属のポート識別シール(穀粒判別器用、下図参照)を
目印として貼り付けてください。**

【付属の穀粒判別器シール】



(8) バーコードタッチスキャナ（オプション）のセットアップ

- I. バーコードタッチスキャナの有無（YES/NO）を選択してください。
- II. バーコードタッチスキャナを使用する場合は、パソコンに接続してください。
接続後、「次へ」をクリックするとポートを自動検出します。
（検出したポートの番号が「接続ポート」欄に表示されます。）
- III. ポートの自動検出後、「次へ」をクリックするとバーコードタッチスキャナのセットアップが完了して次の設定に進みます。

(9) 管理システム名とデータファイル名の決定

画面を参照して、システム名と玄米・精米用の各データファイル名を決めて入力してください。入力後は、「次へ」をクリックしてください。
（これまでの設定が反映され、GTRice のメイン画面が立ち上がります。）

(10) 通信の設定

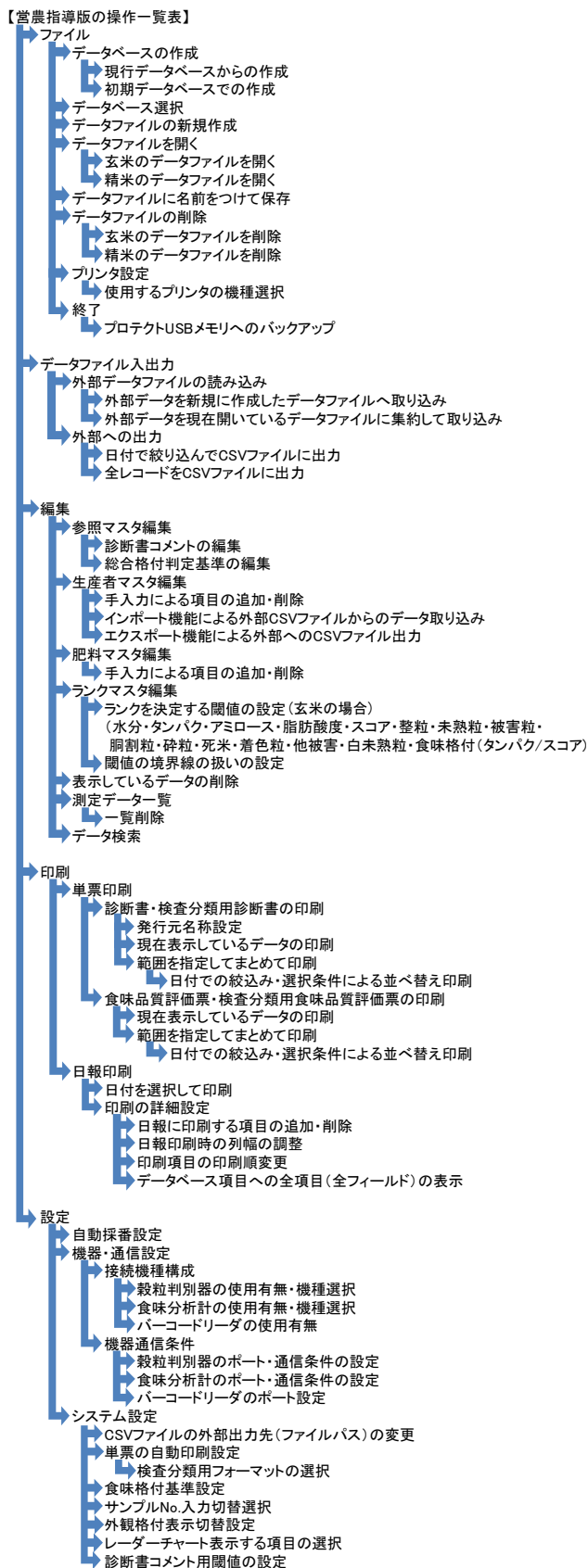
GTRice のメイン画面が立ち上がったら、測定機器との通信設定を行います。通信設定については、「6. 各メニューバーの項目説明」の中の「(5) 設定 (各種条件設定)」にある「[2] 機器・通信設定」を参照してください。

**※機器通信条件は、測定機器側の通信設定と同じ設定にしておく
必要があります**

また画面についての設定を行う場合は、「4. 画面設定」を参照してください。

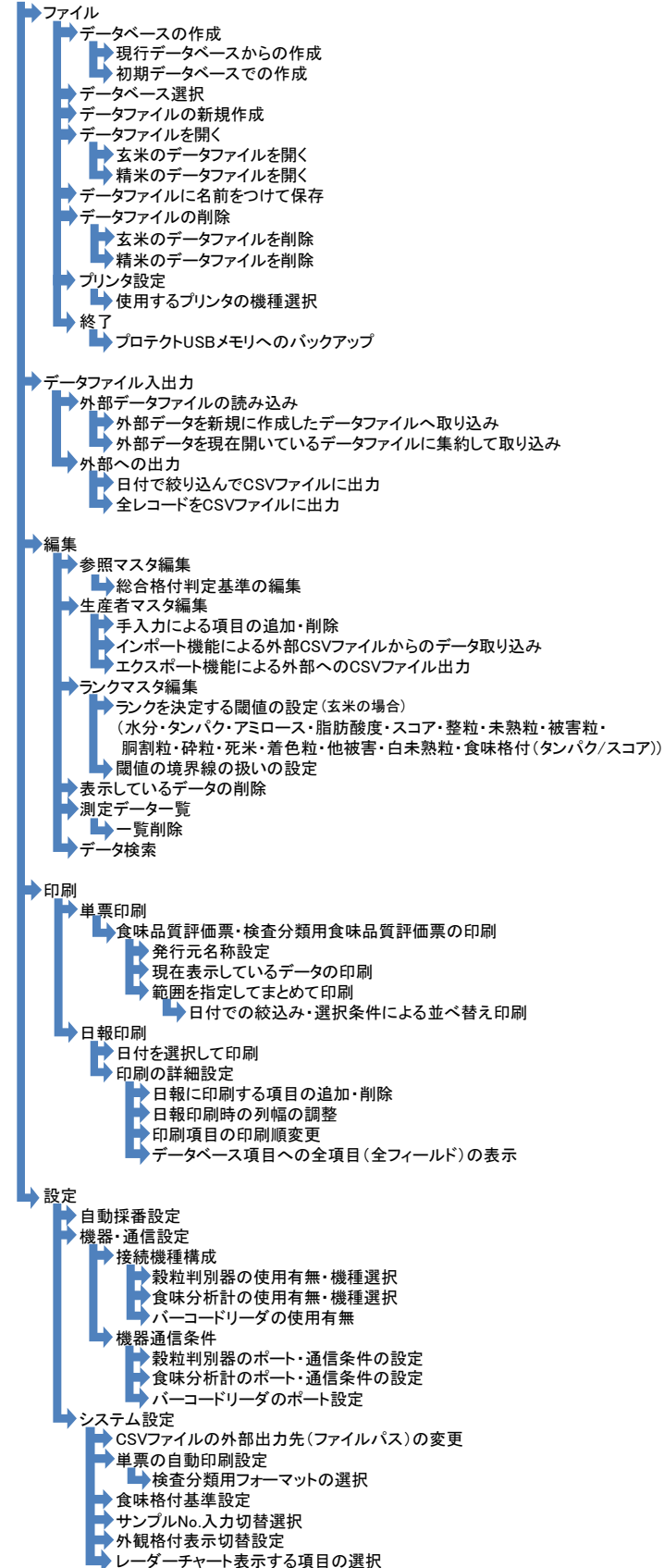
3. 各バージョンの操作一覧表

(1) 営農指導版



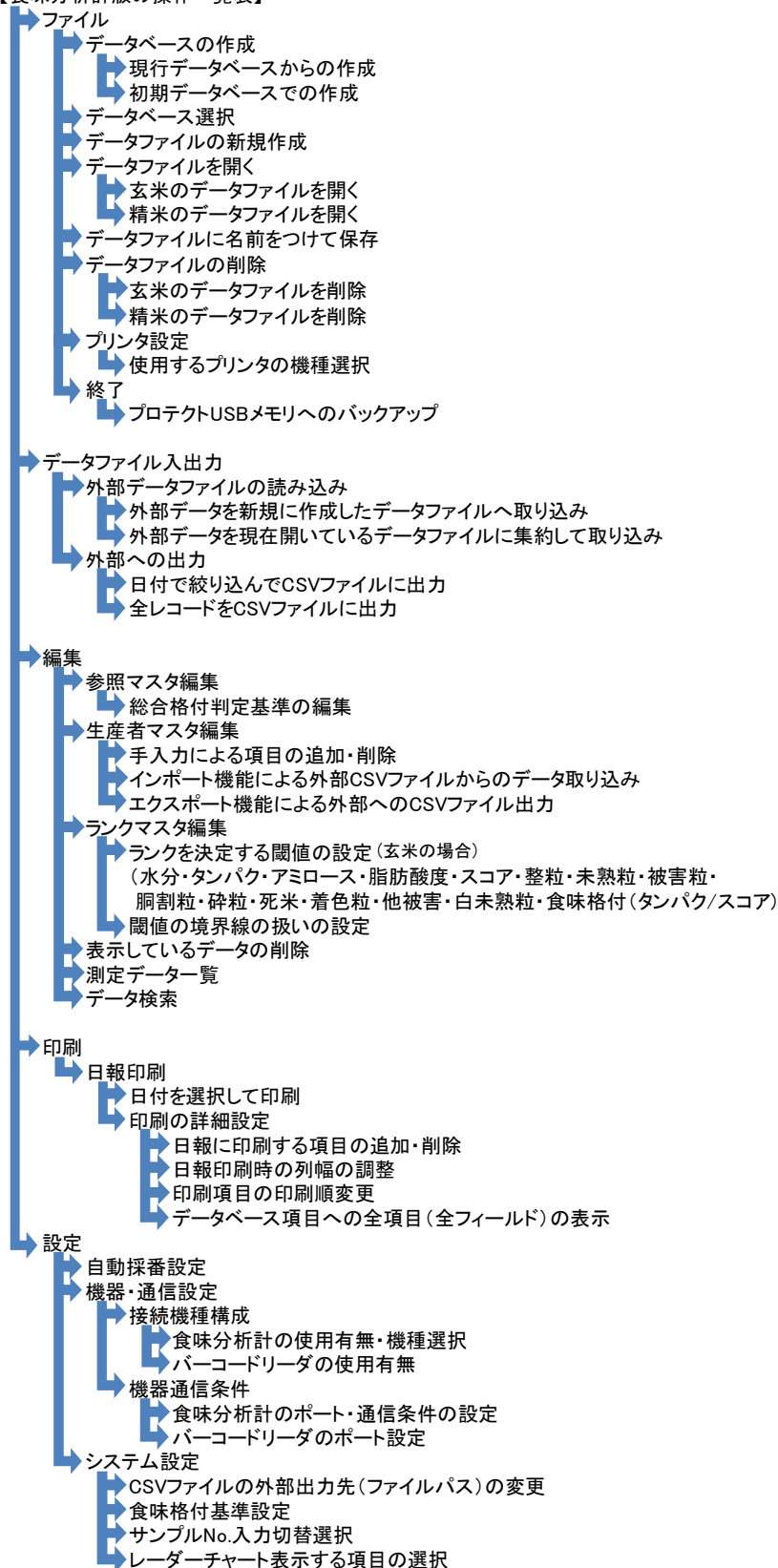
(2) データ管理版

【データ管理版の操作一覧表】



(3) 食味分析計版

【食味分析計版の操作一覧表】



(4) 流通版

【流通版の操作一覧表】

- ファイル
 - データベースの作成
 - 現行データベースからの作成
 - 初期データベースでの作成
 - データベース選択
 - データファイルの新規作成
 - データファイルを開く
 - 玄米のデータファイルを開く
 - 精米のデータファイルを開く
 - データファイルに名前をつけて保存
 - データファイルの削除
 - 玄米のデータファイルを削除
 - 精米のデータファイルを削除
 - プリンタ設定
 - 使用するプリンタの機種選択
 - 終了
 - プロテクトUSBメモリへのバックアップ
- データファイル入出力
 - 外部データファイルの読み込み
 - 外部データを新規に作成したデータファイルへ取り込み
 - 外部データを現在開いているデータファイルに集約して取り込み
 - 外部への出力
 - 日付で絞り込んでCSVファイルに出力
 - 全レコードをCSVファイルに出力
- 編集
 - 参照マスタ編集
 - 総合格付判定基準の編集
 - ランクマスタ編集
 - ランクを決定する閾値の設定 (玄米の場合)
(水分・タンパク・アミロース・脂肪酸度・スコア・整粒・未熟粒・被害粒・
胴割粒・砕粒・死米・着色粒・他被害・白未熟粒・食味格付(タンパク/スコア))
 - 閾値の境界線の扱いの設定
 - 表示しているデータの削除
 - 測定データ一覧
 - 一覧削除
 - データ検索
- 印刷
 - 単票印刷
 - 食味品質評価票・検査分類用食味品質評価票の印刷
 - 発行元名称設定
 - 現在表示しているデータの印刷
 - 範囲を指定してまとめて印刷
 - 日付での絞込み・選択条件による並べ替え印刷
 - 日報印刷
 - 日付を選択して印刷
 - 印刷の詳細設定
 - 日報に印刷する項目の追加・削除
 - 日報印刷時の列幅の調整
 - 印刷項目の印刷順変更
 - データベース項目への全項目(全フィールド)の表示
- 設定
 - 自動採番設定
 - 機器・通信設定
 - 接続機種構成
 - 穀粒判別器の使用有無・機種選択
 - 食味分析計の使用有無・機種選択
 - 機器通信条件
 - 穀粒判別器のポート・通信条件の設定
 - 食味分析計のポート・通信条件の設定
 - システム設定
 - CSVファイルの外部出力先(ファイルパス)の変更
 - 単票の自動印刷設定
 - 検査分類用フォーマットの選択
 - 食味格付基準設定
 - サンプルNo.入力切替選択
 - 外観格付表示切替設定
 - レーダーチャート表示する項目の選択

4. 画面設定

(1) GTRice の起動

パソコンのデスクトップ上にあるショートカットアイコン (GTRice) をダブルクリックします。

起動画面が立ち上がり、続いてメイン画面が表示されます。

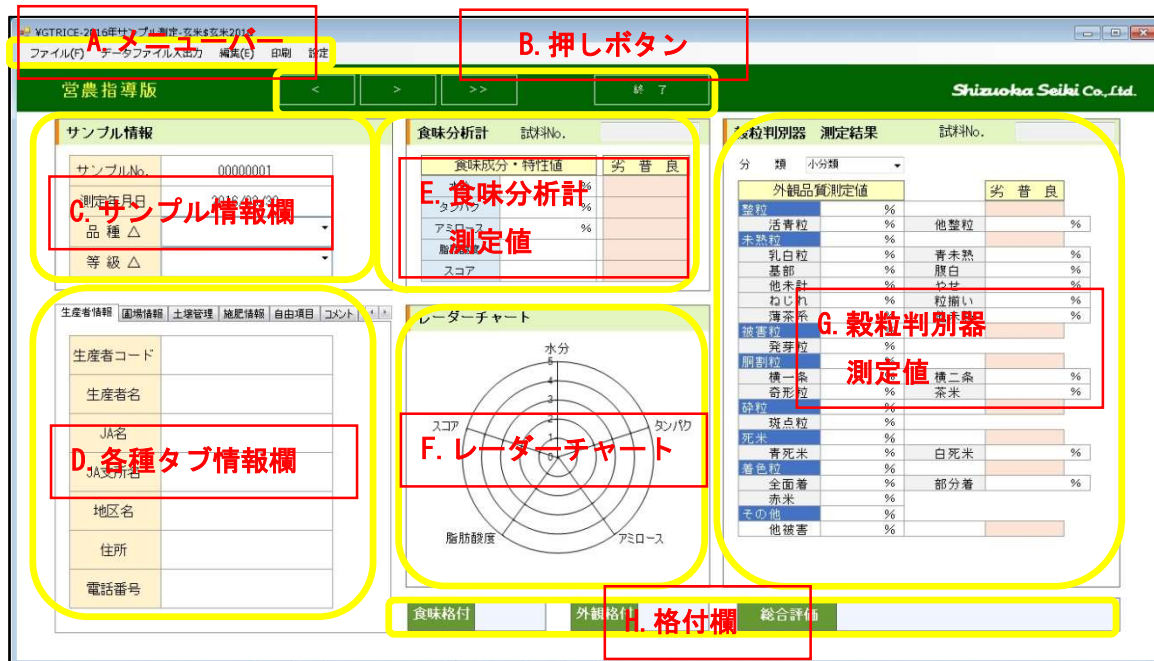
【起動画面】



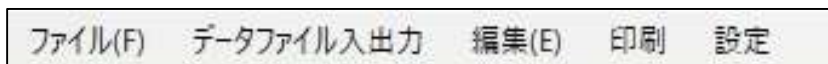
【メイン画面】



【GTRice メイン画面の説明】



A. メニューバー：クリックしますと、項目別に操作を選択することが出来ます。



B. 押しボタン：クリックしますと、次に示す動作を実行します。



「<」：1つ前の測定データに戻ります。

「>」：1つ先のデータに進みます。（選択時に測定データの保存が行われます）

「>>」：最後のデータへジャンプします。（測定データがある場合には、ジャンプ前にデータを保存するかを選択画面が表示されます。）

「終了」：GTRiceを終了します。

※以降の各情報入力欄に情報を入力する際、「,」（半角のコンマ）を使用しないようにしてください。データの区切りと誤判定され、外部へのデータ出力の際などにデータの位置がずれてしまいます。

C. サンプル情報欄：サンプルの情報に関する入力欄です。

サンプル情報	
サンプルNo.	00000001
測定年月日	2016/03/30
品 種 △	▼
等 級 △	▼

D. 各種タブ情報欄：生産者・圃場・土壌・施肥などの情報に関する入力欄です。

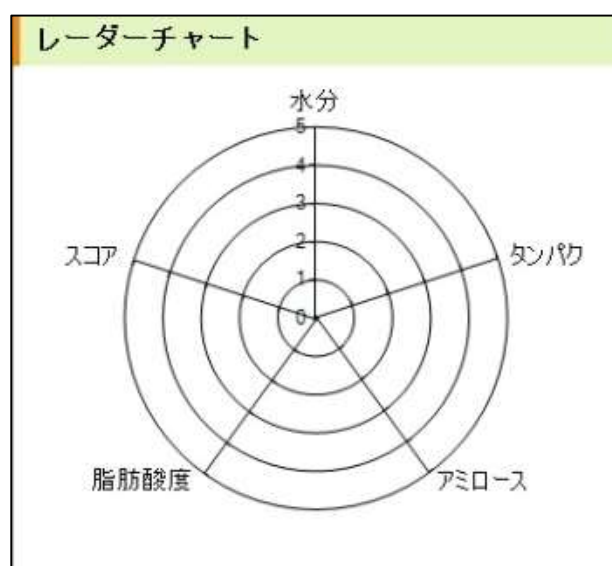
生産者情報	圃場情報	土壌管理	施肥情報	自由項目	コメント
生産者コード					
生産者名					
JA名					
JA支所名					
地区名					
住所					
電話番号					

E. 食味分析計測定値：食味分析計での測定値が表示されます。

食味成分・特性値		劣	普	良
水分	%			
タンパク	%			
アミロース	%			
脂肪酸度				
スコア				

手入力による測定値の変更も可能です。手入力操作した場合には、No. の箇所に赤い印が表示されます。

F. レーダーチャート：各測定器の測定結果から判定したランクをレーダーチャートで表示します。



G. 穀粒判別器測定値：穀粒判別器での測定値が表示されます。

穀粒判別器 測定結果		試料No.	
分類 小分類			
外観品質測定値		劣 普 良	
整粒	%		
活青粒	%	他整粒	%
未熟粒	%		
乳白粒	%	青未熟	%
基部	%	腹白	%
他未計	%	やせ	%
ねじれ	%	粒揃い	%
薄茶系	%	他未熟	%
被害粒	%		
発芽粒	%		
胴割粒	%		
横一条	%	横二条	%
奇形粒	%	茶米	%
碎粒	%		
斑点粒	%		
死米	%		
青死米	%	白死米	%
着色粒	%		
全面着	%	部分着	%
赤米	%		
その他	%		
他被害	%		

手入力による測定値の変更も可能です。手入力操作した場合には、No. の箇所に赤い印が表示されます。

H. 格付欄：測定器（食味分析計および穀粒判別器）の測定結果からの格付および総合格付を表示します。

食味格付		外観格付		総合評価	
------	--	------	--	------	--

(2) 測定条件設定

【ランク閾値の設定】

(メニューバー⇒編集⇒ランクマスタ編集)

各測定結果のランクを決めるための閾値を変更することができます。
変更するには、ランクマスタテーブルの編集画面を開きます。

- ①変更したい項目をクリックすると、
右側にランクテーブルが表示されます。
- ②ランクテーブルの上限側の値を変更します。
- ③境界線の扱いを選択します。
- ④「閉じる」をクリックすると変更が完了します。

変更できるのは上限側の値のみになります。上限の値を変更すると、設定完了時に下限の値も自動的に変更されます。

メニューバーの「編集」をクリックします

①例として「水分」の項目をクリックします

②上限の値を変更します

③「境界の扱い」を選択します

④「閉じる」をクリックします

NO	下限(≦)	上限(>)	ラ
1	無限小	14	1
2	14	145	3
3	145	15.6	5
4	15.6	16	3
5	16	無限大	1

境界線の扱い
 下限を含まず、上限含む
 下限含む、上限含まず

閉じる

【機器・通信の設定】

機器・通信の設定については、「6. 各メニューバーの項目説明」の中の「(5) 設定(各種条件設定)」にある「[2] 機器・通信設定」を参照。

【サンプル情報入力】

メイン画面において、サンプル情報を追加または削除することができます。

名称の後に△がついている項目は、
表示名欄（例えば、「品種△」や「等級△」など）を
ダブルクリックしますと、リストの編集画面が開き、
任意の項目を追加または削除できます。

The screenshot shows the main interface of the software. On the left, there is a 'サンプル情報' (Sample Information) section with fields for 'サンプルNo.' (00000001), '測定年月日' (2020/04/20), '品種△', and '等級△'. A blue callout box with the text '① 「品種△」をダブルクリックします' points to the '品種△' field. In the center, a 'リストの編集' (Edit List) dialog box is open, showing a list of rice varieties such as 'コシヒカリ', 'ひとめぼれ', and '新之助'. A red circle highlights the '新之助' entry. A blue callout box with the text '② 品種のリスト編集画面が開きます' points to the dialog box. On the right, there is a '穀粒判別器 測定結果' (Grain Classifier Measurement Results) section with a table of results.

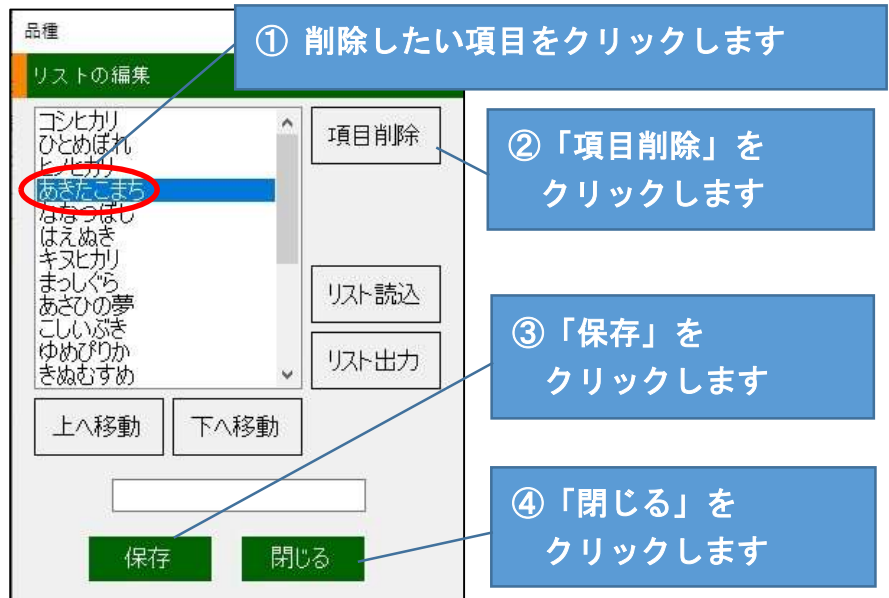
【項目追加】

項目リストに、新しく項目を追加することができます。

This close-up shows the 'リストの編集' (Edit List) dialog box. It features a list of rice varieties on the left and a text input field at the bottom. A red circle highlights the input field containing the text '新之助'. Three blue callout boxes provide instructions: '① 追加したい項目の名称を入力します' (Enter the name of the item to be added), '② 「保存」をクリックします' (Click 'Save'), and '③ 「閉じる」をクリックします' (Click 'Close'). The dialog also includes buttons for '項目削除', 'リスト読込', 'リスト出力', '上へ移動', and '下へ移動'.

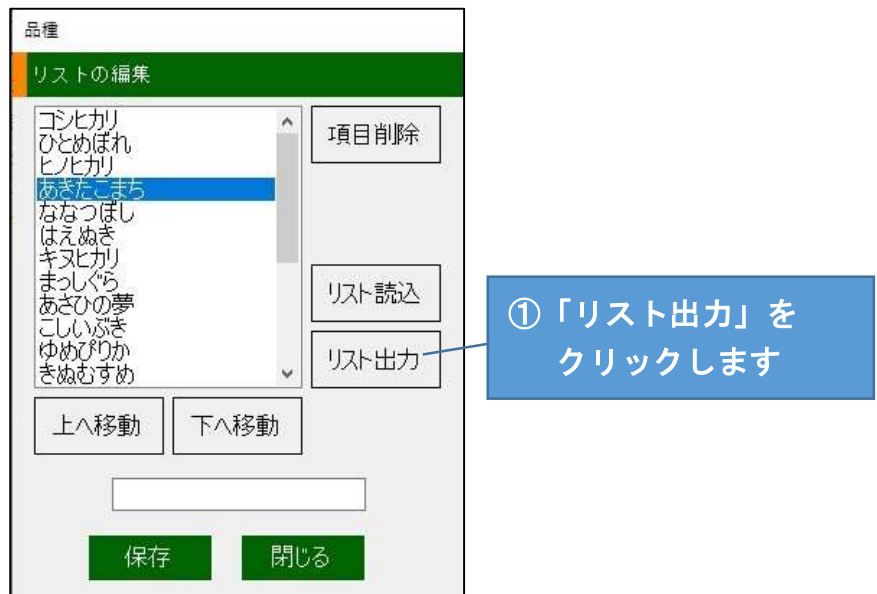
【項目削除】

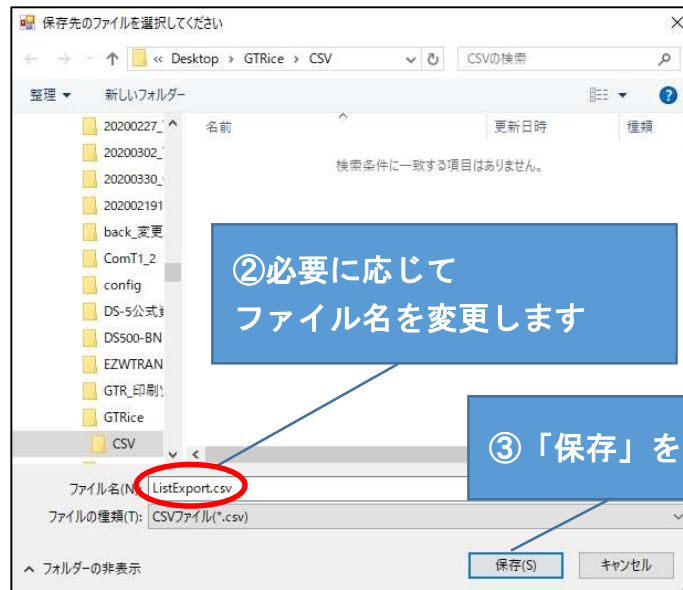
リストに表示されている項目の中から、任意の項目を選択して削除することができます。



【リスト出力】

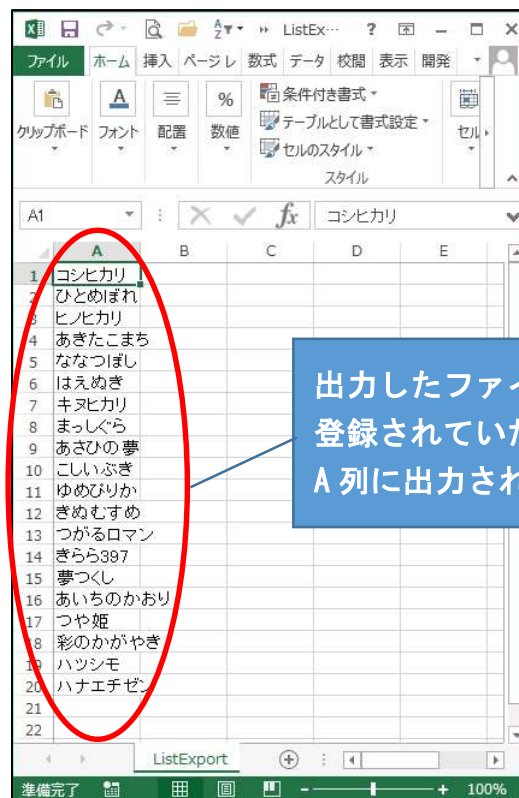
リストに表示されている項目を CSV 形式で外部に出力することができます。





※保存先は、「システム設定」にある「ファイルパスの設定」のアドレスになります。

(デフォルトでは、デスクトップの「GTRice」フォルダの中にある「CSV」フォルダになります。)



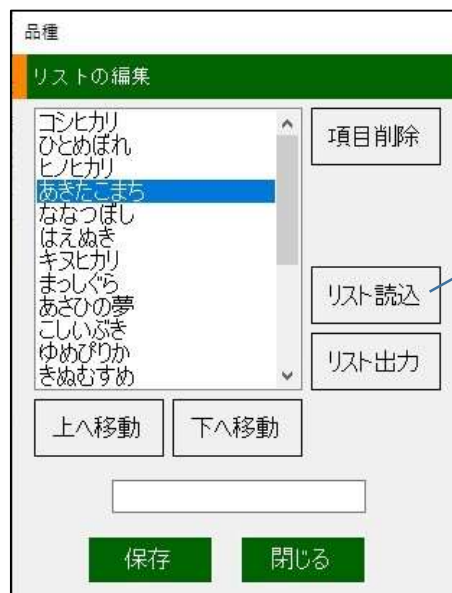
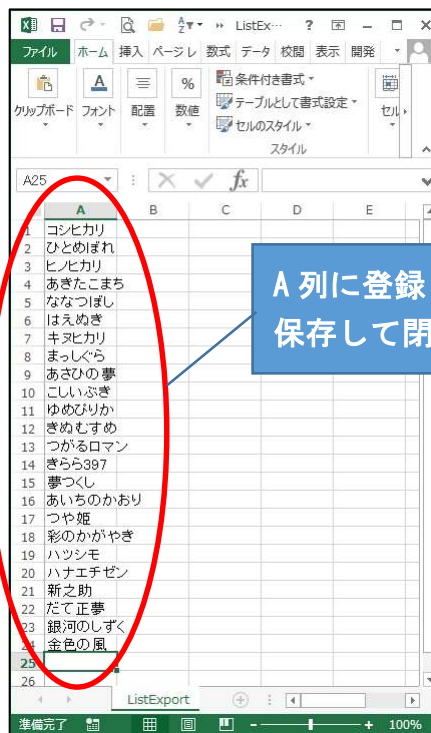
【リスト読込】

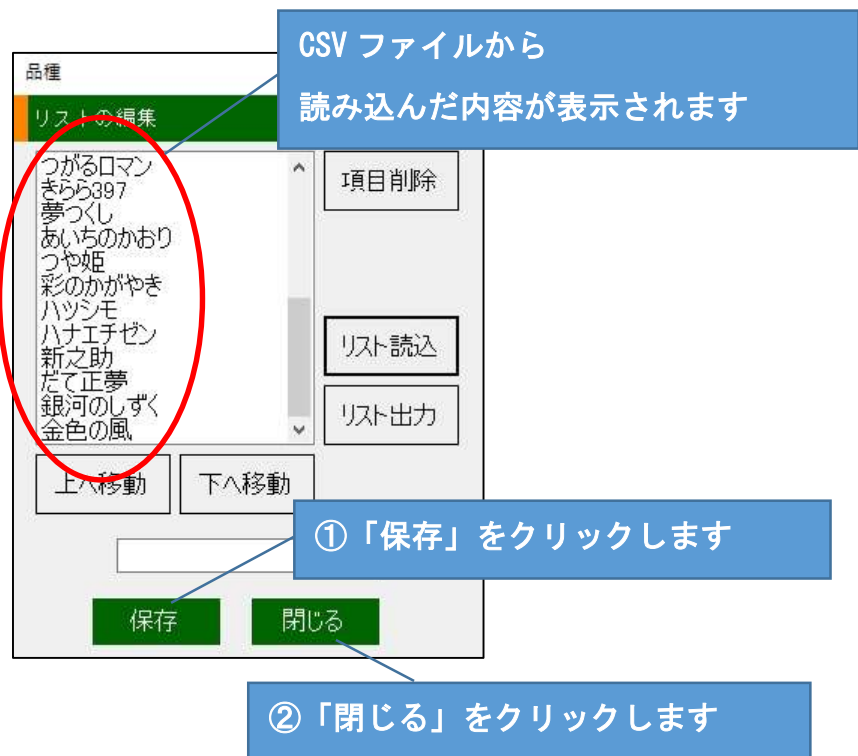
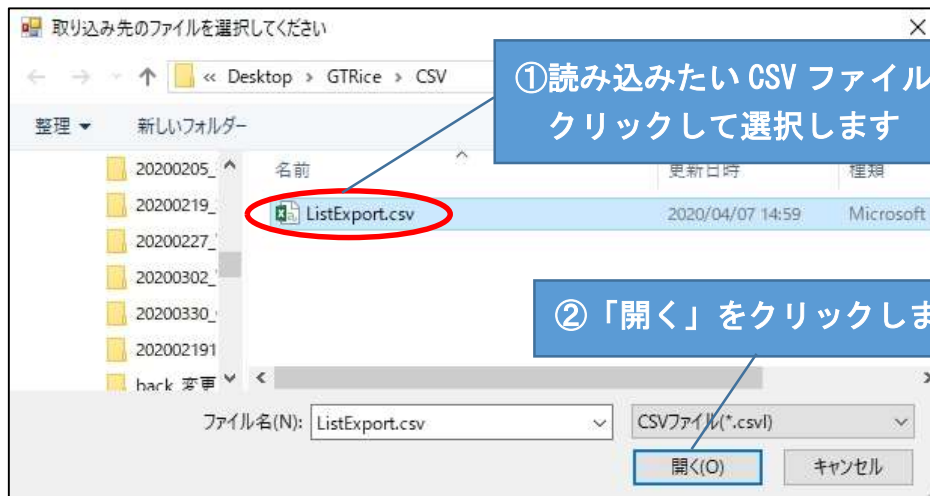
GSV形式のファイルから、項目を一括して読込・上書き登録することができます。

※CSVファイルからのデータ取込をする場合、現在のリストに「上書き」されますのでご注意ください。

(現在表示されているデータ末尾に追加されるわけではありません。)

※上記【リスト出力】で出力したCSVファイルを利用すると、作業が行いやすくなります。





【各情報タブへの項目記入】

・生産者情報タブ

＜＜本機能は、「流通版」には搭載されていません。＞＞

生産者に関する情報を登録することができます。

(メニューバー⇒編集⇒生産者マスタ編集)

生産者マスタに予め生産者情報を登録しておくこと、生産者コードの番号を入力するだけで、生産者マスタから登録情報を読み出すことができます。

(生産者情報を登録しますと、毎回手入力する手間を省けます。)

※生産者コードは 15 桁以内で設定してください

また、生産者コードはオプションのバーコードタッチスキャナを使って入力することも可能です。

生産者情報	圃場情報	土壌管理	施肥情報	詳細子備1	コメント
生産者コード					
生産者名					
JA名					
JA支所名					
地区名					
住所					
電話番号					

生産者マスタテーブルの使用例を記します。
 生産者マスタテーブルに、予め図のような情報を登録しておきます。

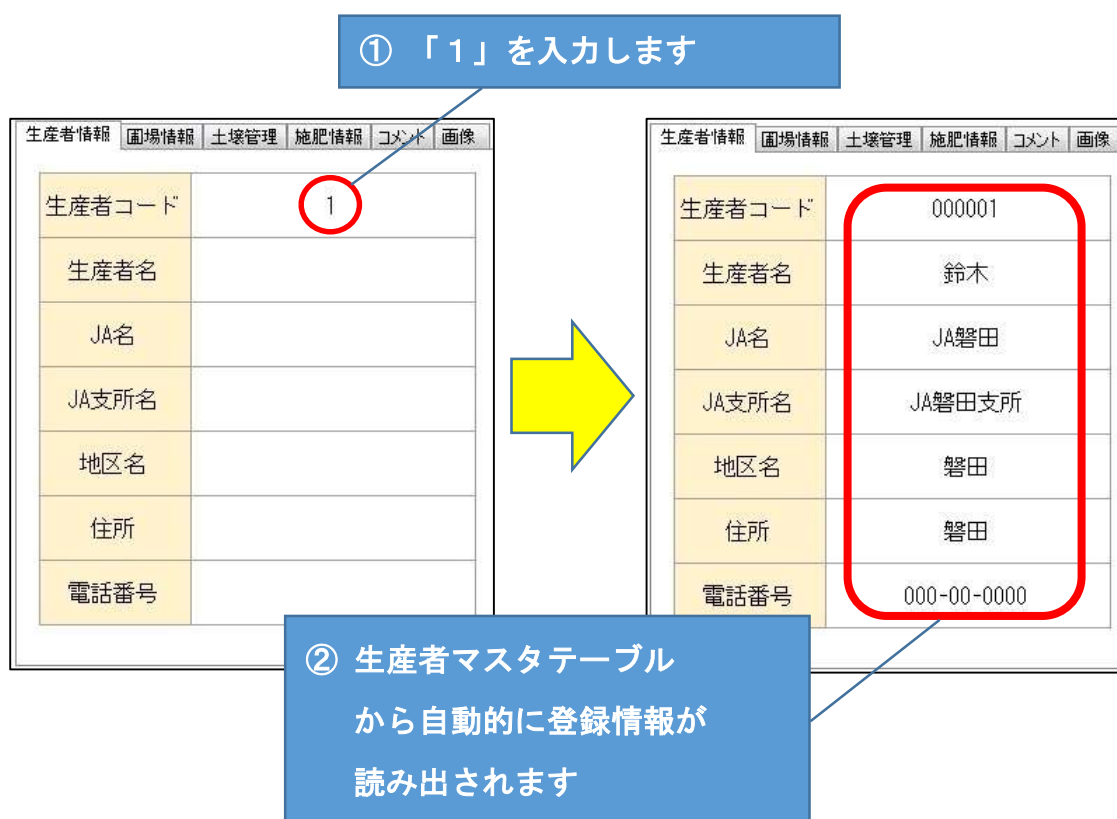
生産者マスタテーブル 編集

追加 削除 データ取込 データ出力

削	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA磐田	JA磐田支所	磐田	磐田	000-00-0000
	2							
	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222
	4	4						

印刷(C) 閉じる(C)

- ①生産者情報タブの「生産者コード」に「1」を入力します。
- ②生産者マスタテーブルに登録されている情報が即座に読み込まれます。



・流通玄米情報タブ

＜＜本機能は、「流通版」のみ有効です。＞＞

玄米の流通段階でよく使われる項目を登録しておくことができます。

流通玄米情報	
玄米ロットNo.	
仕入年月日	
仕入業者名△	▼
産地G △	▼
産年G △	▼
栽培区分 △	▼
備考I	
備考II	
備考III	

・流通精米情報タブ

＜＜本機能は、「流通版」のみ有効です。＞＞

精米の流通段階でよく使われる項目を登録しておくことができます。

流通精米情報	
精米ロットNo.	
精米年月日	
取引先名△	▼
産地S △	▼
産年S △	▼
製品名 △	▼
備考 i	
備考 ii	
備考 iii	
備考 iv	

・圃場情報タブ

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

圃場管理についての情報を登録しておくことができます。

生産者情報	圃場情報	土壌管理	施肥情報	詳細予備1	コメント
産年△					
収量					kg/10a
ほ場番号					
土壌群名△					
土改材名△					
土改材投入量					kg
稲葉処理△					
有機投入量					kg/10a
育苗様式△					
倒伏有無△					
栽植密度(cm)					cm
栽植密度(株/坪)					株/坪
病虫害△					
備考1					
備考2					
備考3					

育苗様式・栽植密度・病虫害の項目については、診断書コメントに関わる項目になります。
診断書コメントを利用する場合は、予め項目を設定しておく必要があります。

診断書のコメントを参考にして営農指導することにより、お米の品質向上につなげることができます。

・ 土壤管理タブ

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

土壤管理についての情報を登録しておくことができます。

生産者情報	圃場情報	土壤管理	施肥情報	コメント	画像
心土破碎△		▼			
客 土				年	
中 干 し△		▼			
透排水性△		▼			
移 植 日					
出 穂 日					
収 穫 日					
登熟日数				日	
登熟温度				度	
千 粒 重				g	

透排水性および登熟温度の項目については、診断書コメントに関わる項目になります。
診断書コメントを利用する場合は、予め項目を設定しておく必要があります。

診断書のコメントを参考にして営農指導することにより、お米の品質向上につなげることができます。

・施肥情報タブ

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

施肥についての情報を登録しておくことができます。

(メニューバー⇒編集⇒肥料マスタ編集)

肥料マスタに予め情報を登録しておくことで、

肥料を選択して、施肥量を入力すればN（窒素）・P（リン）・K（カリウム）の量が自動で算出されます。

生産者情報 圃場情報 土壌管理 施肥情報 詳細予備1 コメント						
	月日	肥料名	施肥量 (kg)	N	P	K
基肥		▼				
追肥1		▼				
追肥2		▼				
追肥3		▼				
追肥4		▼				
追肥5		▼				
合計						

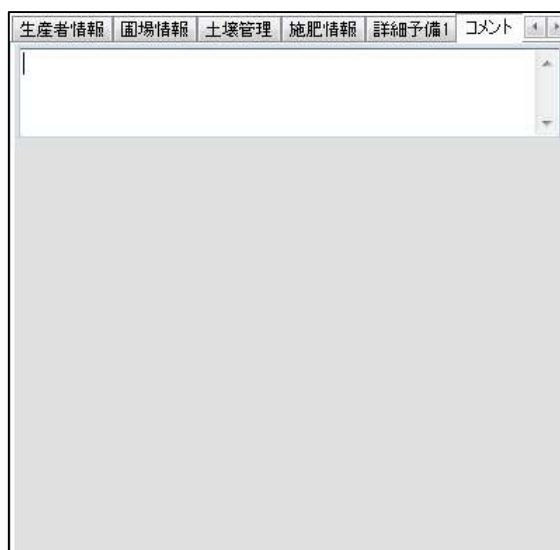
窒素全量(Nの合計値)は、診断書コメントに関わる項目になりますので、診断書コメントを利用する場合はその項目を設定しておく必要があります。

診断書のコメントを参考にして栽培管理をすることにより、お米の品質向上につなげることができます。

- ・コメントタブ

ユーザーが気付いた点をコメントで記録できます。

ただし、記入できる文字数は最大 180 文字です。



The image shows a screenshot of a web application interface. At the top, there is a horizontal tab bar with several tabs: '生産者情報', '圃場情報', '土壌管理', '施肥情報', '詳細予備', and 'コメント'. The 'コメント' (Comment) tab is currently selected and highlighted. Below the tab bar is a large, empty text input area with a light gray background and a vertical scrollbar on the right side. The input area is currently blank, indicating that no comment has been entered.

- ・ 画像タブ

測定サンプルの画像ファイル(JPG 形式)を、保存することができます。



外部から JPEG 方式の画像ファイルを読み、保存できます。
読み込んだ画像をダブルクリックしますと、新しいウインドウが開き、拡大された画像が表示されます。

5. 測定データの表示・印刷・保存

(1) 測定結果の表示

接続機器からの測定結果をパソコンで受信し、GTRice の画面に値を表示します。

接続機器から測定結果が送信されても GTRice の画面に表示されない場合は、トラブルシューティングの「(1) 測定器からのデータが表示されない (通信ができていない)」を参照してください。

<検査分類データの受信 (ES-5 検査分類通信データ) >

穀粒判別器のうち、ES-5 の「農産物検査モードの測定条件」を満たしたデータを受信した場合、測定値を表示するだけでなく以下の「検査モード」表示が行われます。

また下記 2 種類の検査モード表示のどちらが表示されるかは、お使いの ES-5 のバージョンによって決まります。

- ①機械鑑定を前提とした規格での検査モード表示
(整粒が白丸で参考値)

コンボボックス表示が「検査分類」の場合に「検査モード」表示を行う

②各成分の前に●○を表示
(ES-5 本体の表示と同様)

穀粒判別器 測定結果		試料No.
表示項目	検査分類	検査モード
外観品質測定値		劣 普 良
● 着色粒	0.1 %	☆
● 死米	1.4 %	☆
● 胴割粒	1.8 %	☆
● 碎粒	0.0 %	☆
● 白未熟粒	6.5 %	☆
○ 整粒	77.4 %	☆

①「検査モード」表示

②目視による鑑定も可能な規格での検査モード表示
(白未熟粒、整粒が白丸で参考値)

コンボボックス表示が「検査分類」の場合に「検査モード」表示を行う

②各成分の前に●○を表示
(ES-5 本体の表示と同様)

①「検査モード」表示

穀粒判別器 測定結果		試料No.
表示項目	検査分類	検査モード
外観品質測定値		劣 普 良
● 着色粒	0.1 %	☆
● 死米	1.4 %	☆
● 胴割粒	1.8 %	☆
● 碎粒	0.0 %	☆
○ 白未熟粒	6.5 %	☆
○ 整粒	77.4 %	☆

「検査モード」表示は、「農産物検査モードの測定条件」を満たし、かつ穀粒判別器のコンボボックス表示が「検査分類」の場合に表示されます。また、手入力などで値を変更しようとした場合は、「検査モード」表示は解除され、非表示となります。

ES-5 と GTRice で表示される数値が一致しない場合があります。中分類(整粒, 未熟粒, 被害粒, 死米, 着色粒)の合計が100.0%にならない場合があります。また、小分類を合計したものが、中分類と一致しない場合があります。

<検査分類データの受信 (ES-5 検査分類通信データ) >

穀粒判別器のうち、ES-5 の「精米 JAS モードの測定条件」を満たしたデータを受信した場合、測定値を表示するだけでなく以下の「精米 JAS モード」表示が行われます。

- ③ 精米 JAS モード表示
(完全粒、小粉粒が白丸で参考値)

コンボボックス表示が「精米 JAS」の場合に「精米 JAS モード」表示を行う

① 「精米 JAS モード」表示

②各成分の前に●○を表示
(ES-5 本体の表示と同様)

穀粒判別器 測定結果		試料No.		
表示項目	精米JAS	精米JAS		
外観品質測定値		劣	普	良
● 着色粒	2.6 %	☆		
● 被害着色	7.4 %	☆		
● 碎粒	1.6 %			☆
● 粉状質粒	11.6 %		☆	
○ 完全粒	79.3 %	☆		
○ 小碎粒	4.4 %			☆
精米白度	%			

(2) 測定結果の印刷

測定した結果を単票（診断書または食味品質評価票）や日報として印刷することができます。

（メニューバー⇒印刷）

メニューバーの「印刷」をクリックします

食味分析計 試料No. []

食味成分・特性値		劣	普	良
水分	%			
タンパク	%			
アミロース	%			
脂肪酸度				
スコア				

穀粒判別器 測定結果 試料No. []

外観品質測定値		劣	普	良
整粒	%			
活青粒	%	他整粒		%
未熟粒	%			
乳白粒	%	青未熟		%
基部	%	膜白		%
他未計	%	やせ		%
ねじれ	%	粒揃い		%
薄茶系	%	他未熟		%
被害粒	%			
発芽粒	%			
胴割粒	%			
横一糸	%	横二糸		%
奇形粒	%	茶米		%
砕粒	%			
斑点粒	%			
死米	%			
青死米	%	白死米		%
着色粒	%			
全面着	%	部分着		%
赤米	%			
その他	%			
他被害	%			

レーダーチャート

食味格付 [] 外観格付 [] 総合評価 []

帳票選択 発行元名称設定

帳票名 玄米\$出力用診断書.xls

玄米\$出力用診断書.xls
 玄米\$検査分類出力用診断書.xls
 玄米\$食味品質評価票.xls
 玄米\$検査分類食味品質評価票.xls

印刷モード
 表示データ 範囲指定印刷

日付(必須項目) 2015/09/01 ~ 2015/09/30

並べ替え順 生産者コード

印刷(A) 閉じる(C)

【単票の帳票印刷】

測定結果を診断書または食味品質評価票として、印刷することができます。

<診断書例> <<本機能は、「営農指導版」のみ有効です。>>

あなたのお米の診断結果														
サンプル情報														
サンプルNo	00000013	JA名	JA磐田			測定項目	データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い	
測定年月日	2022/3/23	JA支所名	JA磐田支所				水分	15.0 %	14.5~15.6%					☆
生産者コード	00000001	品 種	コシヒカリ				タンパク	8.0 %	7%以下					☆
生産者名	鈴木	等 級	1等				アミロース	19.0 %	18%以下					☆
産 年	H27年	土 壌	心土破砕				脂肪酸度	25.0	16%以下			☆		
収 量	79 kg/10a	改 良	客 土				スコア	75.0	80以上				☆	☆
ほ場番号	A	透排水性	中干し											
土壌群名	黄色土	時期	良好											
土改材	ケイカル 150 Kg	移植日	2022/3/6	出穂日	2022/6/12		収穫日	2022/9/1						
稲蓋処理	暮すきこみ	栽培密度	45 cm	22 株/坪										
有機投入量	20 kg/10a	病害虫	無			●着色粒	7.0 %	0%以下	☆					
育苗様式	成苗	登熟日数	70 日			●死 米	1.4 %	5%以下					☆	
倒伏有無	無	登熟温度	1200.00 ℃			●胴割粒	2.2 %	3%以下					☆	
備考1		千粒重	12 g			●砕 粒	0.0 %	3%以下					☆	
備考2						●白未熟粒	5.6 %	5%以下					☆	
備考3						○整 粒	75.6 %	80以上					☆	
施肥情報														
施肥	肥料名	施肥量	N	P	K	食味 ランク A		外観 ランク B						
基 肥	元肥1号	10.0 kg	1.4	2.0	1.2									
追肥1	尿素	20.0 kg	9.2	0.0	0.0									
追肥2	珪酸加里	30.0 kg	0.0	0.0	6.0									
追肥3	エムコート777	40.0 kg	4.1	4.1	4.1									
追肥4		0.0 kg	0.0	0.0	0.0									
追肥5		0.0 kg	0.0	0.0	0.0	総合 評価 B		静岡製機株式会社 良食味米 育成支援システム						
合計			14.7	6.1	11.3									
<p>↓分析結果からみた改善ポイントです。コメントを参考にしておいしい米作りを進めてください。</p> <p>食味は良いお米ですが、外観がやや劣ります。外観品質の向上に努めてください。刈り取りが遅く、着色粒が多くなっています。過期刈り取りを行ってください。</p> <p>未熟米が多くなっています。過期刈り取りや篩い目の選択に気をつけてください。</p>														
コ メ ン ト														

※検査分類出力用診断書では、外観品質の項目が「検査分類」の項目（着色粒・死米・胴割粒・砕粒・白未熟粒・整粒）となります。また、印刷における「検査モード」表示は、上記検査分類の項目名の前に黒丸または白丸が付与表示されます。

<食味品質評価票例>

<<「食味分析計版」に食味品質評価票の印刷機能は搭載されていません>>

食味品質評価票 (玄米)							
サンプル情報							
サンプルNo	0000013	JA名	JA磐田				
測定年月日	2022/03/23	JA支所名	JA磐田支所				
生産者コード	00000001	品 種	コシヒカリ				
生産者名	鈴木	等 級	1等				
食味成分・特性							
測定項目	データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
水分	15.0	% 14.5~15.0%					☆
タンパク	8.0	% 7%以下				☆	
アミロース	19.0	% 18%以下				☆	
脂肪酸度	25.0	% 16%以下			☆		
スコア	75.0	80以上				☆	
食味格付		A					
外観品質							
測定項目	データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
●着色粒	7.0	% 0%以下	☆				
●死 米	1.4	% 5%以下					☆
●胴割粒	2.2	% 3%以下					☆
●碎 粒	0.0	% 3%以下					☆
●白未熟粒	5.6	% 5%以下				☆	
○整 粒	75.6	% 80以上				☆	
外観格付		B					
			総合評価 B		静岡製機株式会社 良食味米 育成支援システム		

※検査分類食味品質評価票では、外観品質の項目が「検査分類」の項目（着色粒・死米・胴割粒・碎粒・白未熟粒・整粒）となります。また、印刷における「検査モード」表示は、上記検査分類の項目名の前に黒丸または白丸が付与表示されます。

帳票は範囲指定印刷を選択しますと、日付でのデータの絞り込みができます。また並べ替え順(生産者情報タブの項目)の項目を選択しますと、選択した項目で並べ替え印刷することができます。

帳票名 玄米\$出力用診断書.xls

玄米\$出力用診断書.xls
玄米\$検査分類出力用診断書.xls
玄米\$食味品質評価票.xls
玄米\$検査分類食味品質評価票.xls

印刷モード
 表示データ 範囲指定印刷

日付(必須項目) 2015/09/01 ~ 2015/09/30

並べ替え順 生産者コード

印刷(A) 閉じる(C)

【例】2020年に生産者コード No. 00000001~00000003 までのデータが順不同で入っている場合、日付を「2020/9/1~2020/9/30」に指定し、並べ替え順を「生産者コード」にした例を記します。

測定時期が2020年9月1日~2020年9月30日の期間に該当する測定データを、生産者コード No. 00000001 から順に印刷することができます。

〈上記例の印刷順番〉

- ① 生産者コード No. 00000001、2020年9月1日~2020年9月30日間のデータを全て印刷します。
- ② 生産者コード No. 00000002、2020年9月1日~2020年9月30日間のデータを全て印刷します。
- ③ 生産者コード No. 00000003、2020年9月1日~2020年9月30日間のデータを全て印刷します。

【発行元名称変更】

診断書および食味品質評価票に印字される発行元の名称を変更することができます。設定できる文字数は、全角で16文字または半角で32文字までになり、設定した発行元の名称の長さに応じて、自動的に文字サイズは調整されます。

帳票選択

発行元名称設定

帳票名 玄米\$出力用診断書.xls

玄米\$出力用診断書.xls
玄米\$検査分類出力用診断書.xls
玄米\$食味品質評価票.xls
玄米\$検査分類食味品質評価票.xls

印刷モード
 表示データ 範囲指定印刷

日付(必須項目) 2015/09/01 ~ 2015/09/30

並べ替え順 生産者コード

印刷(A) 閉じる(C)

① 「発行元名称設定」をクリックします

発行元名称設定

発行元名 静岡製機株式会社

決定 中止

② 発行元名を入力します

③ 「決定」をクリックします

【日報印刷】

測定したデータを日付単位で一覧表印刷することができます。

日報に印刷する項目を追加・削除および印刷項目の列幅を調整する場合には、日報印刷画面の右上にある「詳細設定」ボタンをクリックします。

「全フィールド表示」ボタンをクリックしますと、詳細項目が表示されます。必要に応じて項目の追加・削除することができます。

【印刷項目の追加】

③ 「保存」をクリックします。

④ 「閉じる」をクリックします

※変更後、「保存」をクリックしないと変更が反映されませので変更したい場合には必ず「保存」をクリックしてから「閉じる」をクリックしてください。

【印刷項目の削除】



③ 「保存」をクリックします

④ 「閉じる」をクリックします



※変更後、「保存」をクリックしないと変更が反映されませので
変更したい場合には必ず「保存」をクリックしてから「閉じる」
をクリックしてください。

【印刷時の列幅の調整】

① マウスを使い、セル間の境界線にカーソルを合わせます。

② カーソル表示が「⇄」に変わりますので、左右にドラッグして列幅を調整してください。
※ドラッグとは・・・マウスをクリックした状態のまま移動させることです。

保存(A) 閉じる(C)

③ 「保存」をクリックします

④ 「閉じる」をクリックします



※変更後、「保存」をクリックしないと変更が反映されませので変更したい場合には必ず「保存」をクリックしてから「閉じる」をクリックしてください。

<日報例>

測定日報一覧表

サンプルNo.	測定年月日	生産者コード	生産者名	品種	等級	水分	タンパク	アミロース	脂肪酸度	食味格付	スコア	総合評価
00000001	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000002	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000003	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000004	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000005	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000006	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000007	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000008	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000009	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000010	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000011	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000012	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000013	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000014	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000015	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000016	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000017	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000018	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000019	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000020	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000021	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000022	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000023	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000024	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000025	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000026	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000027	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000028	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000029	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000030	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S

(3) 測定データの保存

測定結果表示画面に表示される「>」（表示データの切替）をクリックしますと、測定データを保存することができます。

また、未登録の測定データがある場合や保存済のデータを編集した場合には、「<」や「>>」をクリックしますと、データを保存して更新するか選択のメニューが表示されます。

6. 各メニューバーの項目説明

(1) ファイル

GTRiceでは1つのデータベースの中に、複数の玄米や精米のデータファイルが格納されるファイル構成になっています。ただし、各種設定値の保持はデータベース毎に1つになるため、1つのデータベース内の異なるデータファイル間で異なる設定値を保持することはできません。

これまでのデータと設定を分けて管理したい場合には、別途データベースを新しく作成してください。

新しくデータベースを作成したい場合、または新しくデータファイルを作成したい場合には、下記の手順で作成してください。

[1] データベースの作成

(メニューバー⇒ファイル⇒データベースの作成)

- ①新規作成するには、新しいシステム名（データベース名称）を入力します。
- ②作成元（現行データベース or 初期データベース）を選択し、「作成」をクリックしてください。
新しいデータベースが作成されます。

The screenshot shows the GTRice software interface. A blue callout box with white text says "メニューバーの「ファイル」をクリックします" (Click the 'File' menu in the menu bar). The 'File' menu is open, showing options like "データベースの作成" (Create database), "データベース選択" (Select database), etc. The main window displays a data entry form for a rice sample, including fields for producer information, a radar chart for quality characteristics (水分, タンパク, アミロース, 脂肪酸度, スコア), and a table for grain quality analysis (穀粒判別器 測定結果).

項目	単位	劣	普	良
水分	%			
タンパク	%			
アミロース	%			
脂肪酸度				
スコア				

表示項目	小分類	劣	普	良
外観品質測定値				
整粒	%			
活青粒	%	他整粒	%	
未熟粒	%			
乳白粒	%	青未熟	%	
基部	%	膜白	%	
他未計	%	やせ	%	
ねじれ	%	粒崩れ	%	
薄茶系	%	他未熟	%	
被害粒	%			
発芽粒	%			
胴割粒	%			
横一糸	%	横二糸	%	
奇形粒	%	茶米	%	
砕粒	%			
斑点粒	%			
死米	%			
青死米	%	白死米	%	
着色粒	%			
全面着	%	部分着	%	
赤米	%			
その他	%			
他被害	%			



作成元に「現行データベース」を選択しますと、
現在 GTRice で開いているデータベースの設定をコピーして、
新しいデータベースを作成することができます。

「初期データベース」を選択しますと、新しいデータベース
を作成することができます。

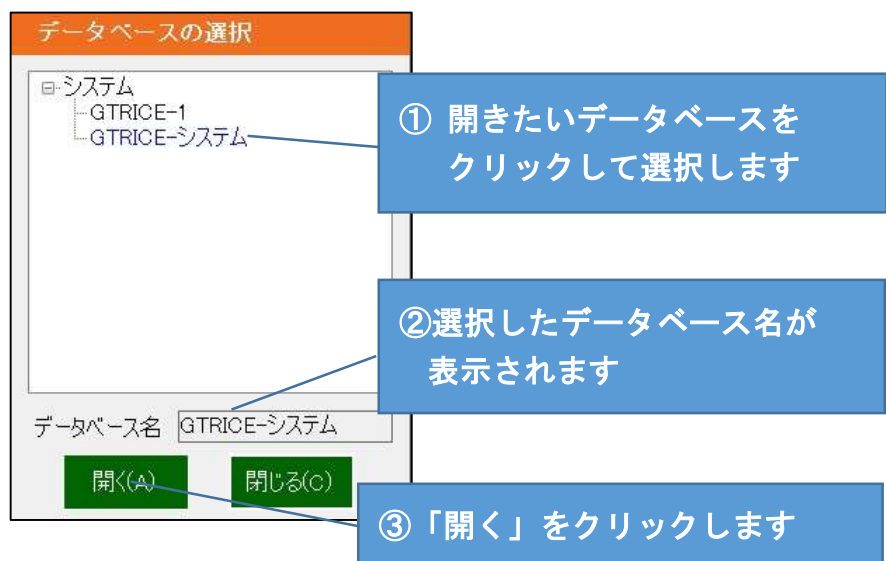
※注意

システム名に次の文字は使用できません。

¥/:,;*?" <>|

[2] データベース選択

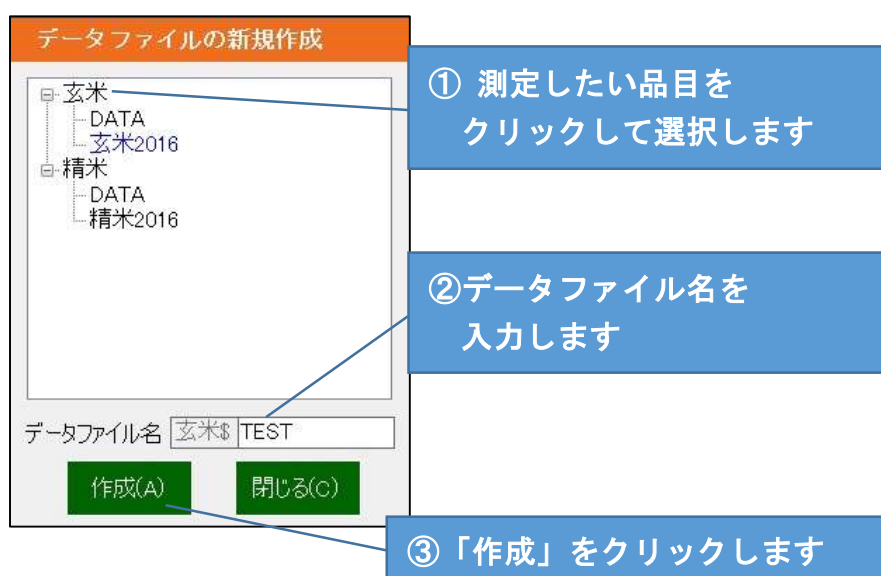
「データベースの作成」において既に作成したデータベースを、
一覧の中から選択して開くことができます。



[3] データファイルの新規作成

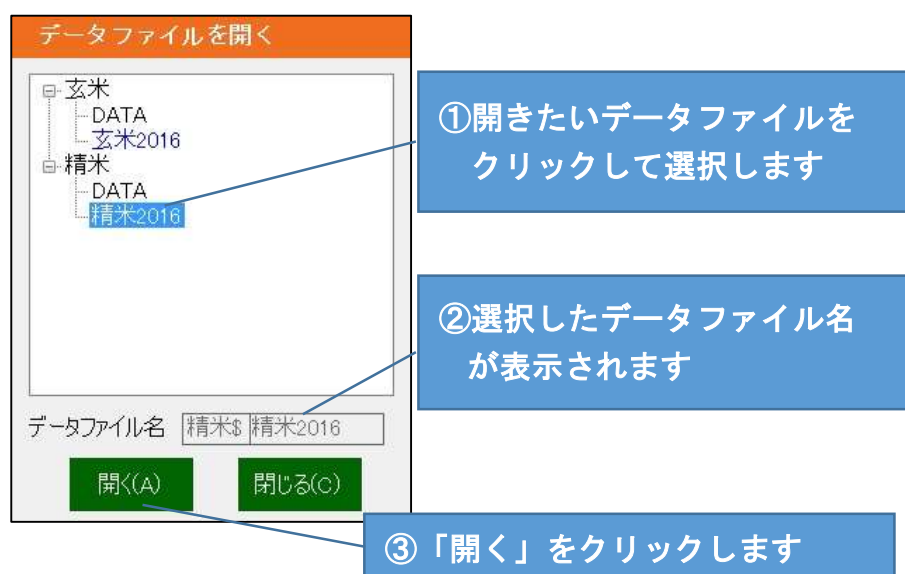
現在開いているデータベースと同じ設定で、データファイルだけを分けて管理したい場合には、新しくデータファイルを作ることができます。

- ①測定したい品目（玄米・精米）を選択します。
- ②データファイル名を入力します。
- ③「作成」をクリックします。



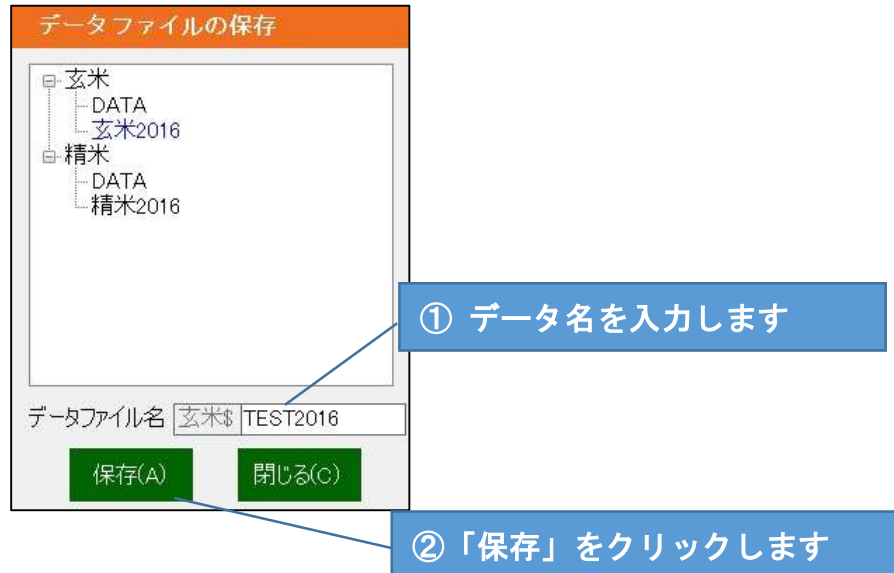
[4] データファイルを開く

「データファイルの新規作成」で作成した既存のデータファイルを、一覧の中から選択して開くことができます。



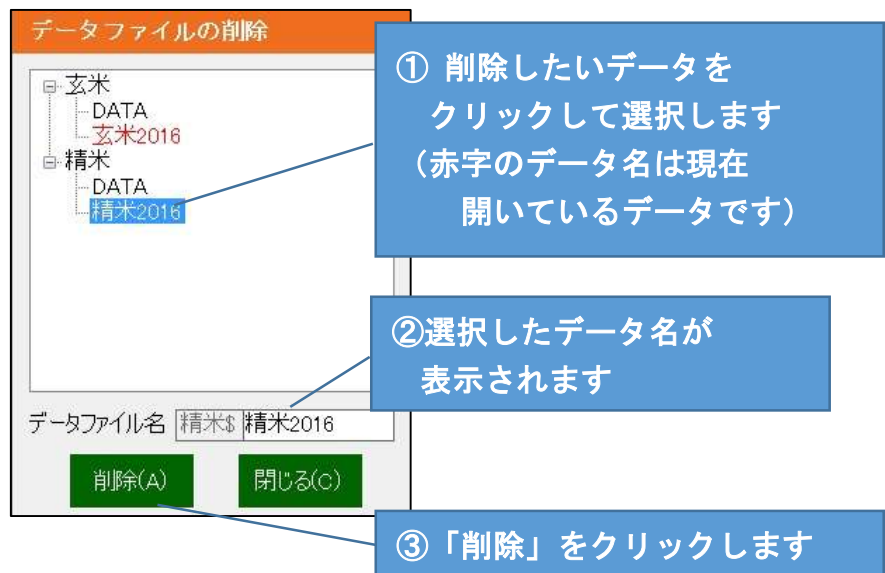
[5] データファイルに名前をつけて保存

現在開いているデータファイル名の名前を変え、別名で保存することができます。



[6] データファイルの削除

既に作成したデータファイルを、一覧の中から選んで削除できます。ただし、開いているデータファイルの削除はできません。



[7] プリンタ設定

印刷に使用するプリンタを選択できます。



[8] 終了

GTRice を終了します。

また、「実行」をクリックしますと、終了直前に開いていたデータベースのデータをプロテクトキー用 USB メモリ内にバックアップします。



プロテクト用 USB メモリ内にバックアップできるのは、終了時に開いていたデータベースに含まれるデータだけです。また、「USB メモリへの画像保存」の項目にチェックを入れることで、画像タブの画像ファイルを保存することができます。（※データ量が多い場合、保存に時間がかかってしまうため、「USB メモリへの画像保存」の項目にチェックを入れた場合のみ画像タブの画像ファイルが保存されます。USB メモリには他のデータベースに保持されているデータは保存されません。）USB メモリ内に保存されていた古いバックアップデータは上書きされますので、ご注意願います。

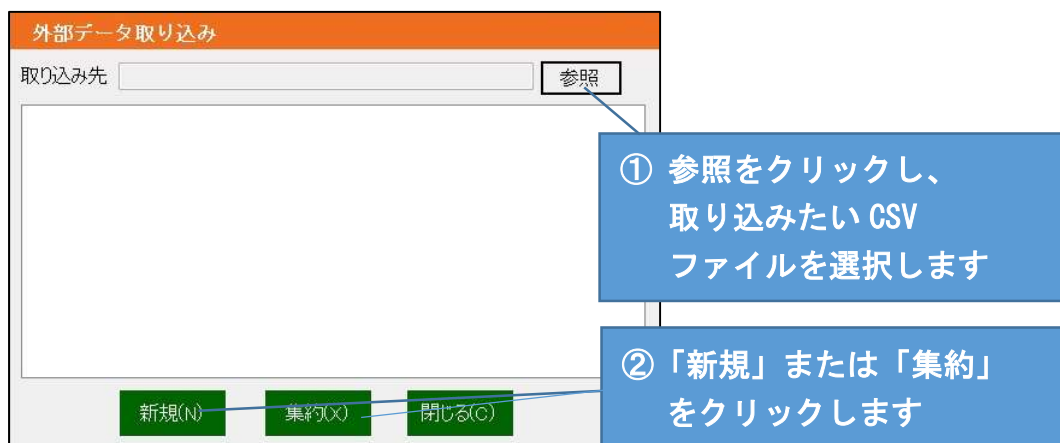
データベースに保存されているデータ量が多くなってくると、プロテクト用 USB メモリへの保存に時間がかかります。適宜データベースを新しく作り直すことをお勧めします。

(2) データファイル入出力

[1] 外部データファイルの読み込み

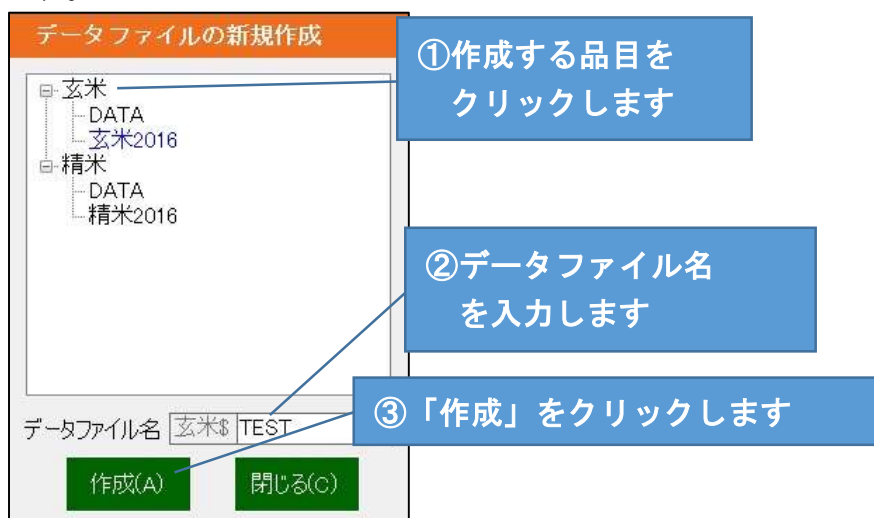
データフォーマットの一致する CSV ファイルデータを GTRice に読み込むことができます。

データを読み込みたい CSV ファイルを選択し、「新規」または「集約」を選択します。



【新規】

読み込んだ CSV ファイルのデータを、新しいデータファイル名で保存します。



フォーマット（表示名や項目の有無など）が異なっている場合にはデータをとり込むことはできません。
フォーマットを合わせてから取り込む必要があります。

【集約】

現在開いているデータファイルに、読み込んだ CSV ファイルデータを追加します。

データを集約する場合、サンプル No. が重複しているデータは取り込んで集約することができません。
複数の場所で測定した測定データを 1 箇所にまとめて集約管理する必要がある場合（サンプル No. の重複を避けるなど）に、便利な機能です。

【注：複数個所からのデータを集約する場合の運用方法】

サンプル No. の上位桁を、測定場所固有の番号として割り当てることで、データ集約の際にサンプル No. が重複しないようにすることができます。

（測定を開始するサンプル No. は、設定⇒自動採番設定の項目にて、変更できます。）

〈複数個所からデータを集約する場合の運用例〉

各測定場所のサンプル No. を下記の値から開始するようにします。

- ・本部（データ集約先）のサンプル No. : 00000001～
- ・支所 A のサンプル No. : 10000001～
- ・支所 B のサンプル No. : 20000001～
- ・支所 C のサンプル No. : 30000001～

測定開始前に、メニューバーの「設定⇒自動採番設定」において、支所 A は No. 10000001、支所 B は No. 20000001、支所 C は No. 30000001、に値を変更してから測定を開始します。

[2] 外部への出力

現在開いているデータファイルの測定結果を、「日付」または「全て」を選択後、指定した保存先のファイルに出力することができます。

外部出力

出力方式

日付絞込み 全レコード

- 2016/01/16
- 2016/01/17
- 2016/01/18
- 2016/01/19

対象日付

保存先

保存ファイル名

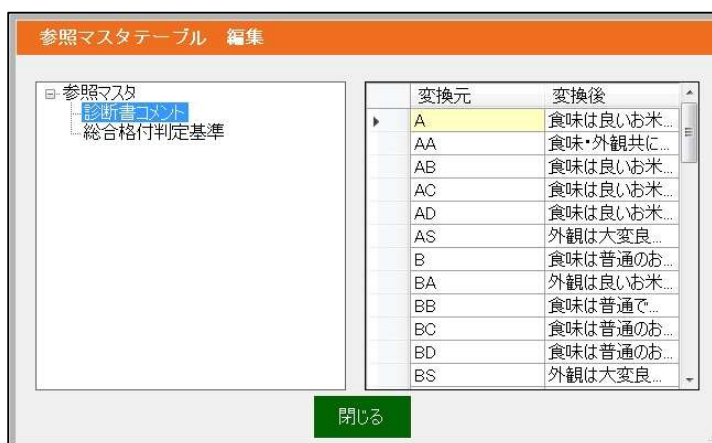
(3) 編集 (各種マスタ)

[1] 参照マスタ編集

診断書のコメント内容や総合格付判定の結果の項目内容を変更することができます。

(ただし、「変換元」の項目内容は変更できません。)

※診断書のコメントの決定の仕組みについては、
「7. 診断書のコメント表示」を参照してください。



診断書のコメント (※「営農指導版」のみ) の内容は、測定結果および肥料などの入力データに基づいて表示内容を決定しています。大幅にコメント内容を変更した場合、実際の測定データと表示されるコメントの間の関連性が失われる恐れがありますので、ご注意ください。

ウィンドウを拡大するとコメント内容全体が見えるようになり、見やすくすることができます。

総合格付判定は、メイン画面の「食味格付」、「外観格付」から「総合評価」を決定します。デフォルト設定では、「食味格付」、「外観格付」のうちの評価の低いほうが「総合評価」に反映されます。(欠点格下げ法を採用しています)

(格付の評価は、評価の良いほうから順に「S > A > B > C > D」の5段階評価になっています。)

例えばデフォルトでは、「食味格付」=「A」、「外観格付」=「C」の場合には、「総合評価」は「C」となります。

「総合格付判定基準」の判定は変更することができます。

例えば、「食味格付」=「A」、「外観格付」=「C」の場合には、「変換元」=「AC」、「変換後」=「C」となっています。ここで、「変換後」データを「B」に変更しますと、「総合評価」は「B」に変わります。（下図参照）

参照マスターテーブル 編集

参照マス
診断書コメント
総合格付判定基準

変換元	変換後
A	A
AD	D
AC	C
AB	B
AA	A
AS	A
S	S
SD	D
SC	C
SB	B
SA	A
SS	S

食味格付「A」、
外観格付「C」のときの
総合評価が「C」
に設定されている

閉じる

参照マスターテーブル 編集

参照マス
診断書コメント
総合格付判定基準

変換元	変換後
A	A
AD	D
AC	B
AB	B
AA	A
AS	A
S	S
SD	D
SC	C
SB	B
SA	A
SS	S

① 食味格付「A」、
外観格付「C」のときの
総合評価を「B」
に変更する

② 「閉じる」を
クリックすると、
設定が反映されます

閉じる

[2]生産者マスタ編集

＜＜本機能は、「流通版」には搭載されていません＞＞

生産者コードと連動して、生産者情報のタブに表示するためのリスト情報を編集することができます。

編集の方法には下記2つの方法があります。

I. 手入力での編集

II. 外部の CSV ファイルからのデータ取込

また、現在のリスト情報を CSV ファイルで外部出力(データ出力)することも可能です。

CSV ファイルからのデータ取込をする場合、現在のリストに「上書き」されますのでご注意ください。
(現在の生産者マスタテーブルに表示されているデータの末尾に追加されるわけではありません。)
また CSV フォーマットが異なる場合には、データ取込できません。

フォーマットが異なる場合は、下記手順でデータ取込してください。

- ①一旦現在の生産者マスタリストをデータ出力の項目から、CSV ファイル形式で外部出力します。
- ②外部出力した CSV ファイルを開いて、該当する項目に対して取り込みたいファイルのデータをコピーして編集します。
- ③編集が終わった CSV ファイルを、データ取込で取り込みます。

【CSV フォーマットが異なる場合のインポート例】

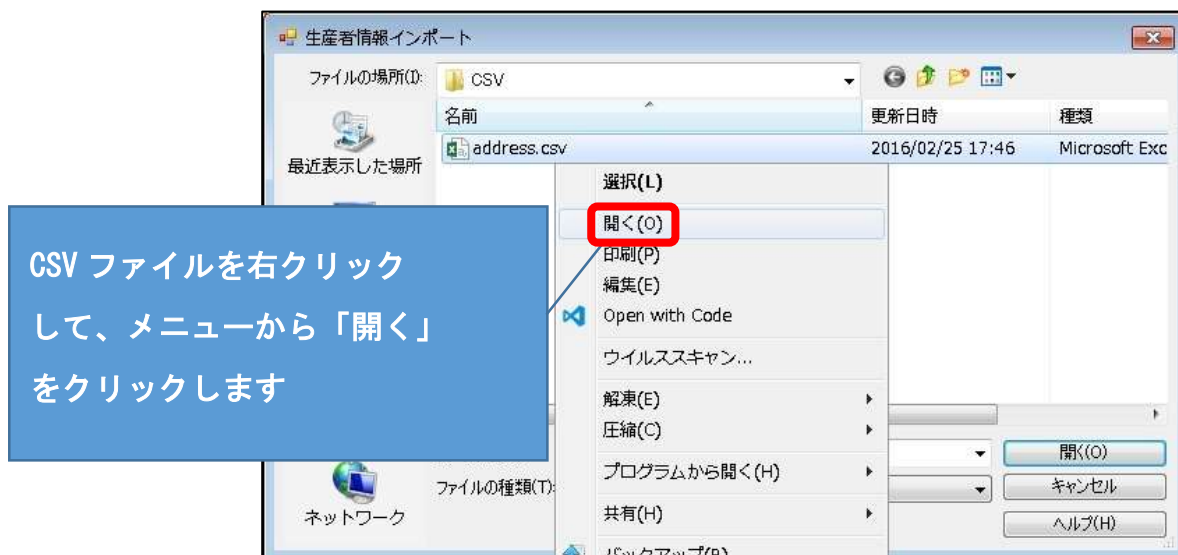
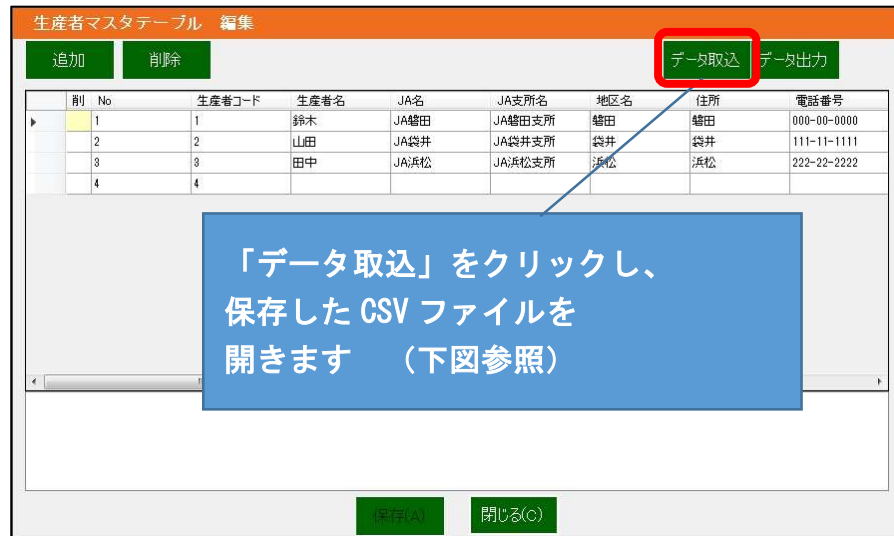
生産者マスタテーブル 編集

追加 削除 データ取込 データ出力

削	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA磐田	JA磐田支所	磐田	磐田	000-00-0000
	2	2	山田	JA袋井	JA袋井支所	袋井	袋井	111-11-1111
	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222
	4	4						

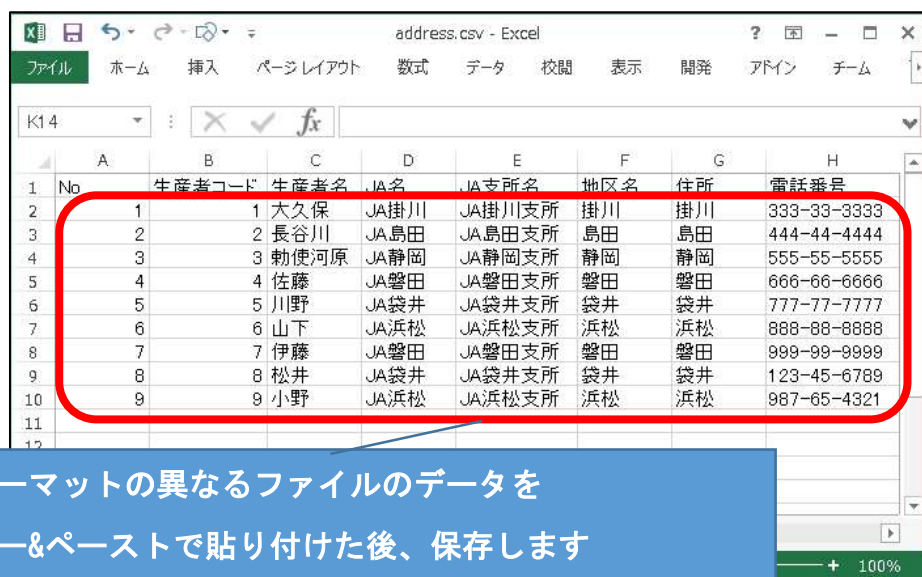
「データ出力」をクリックし、
現在の生産者マスタリストを
CSV ファイルで外部出力します

保存 閉じる(O)

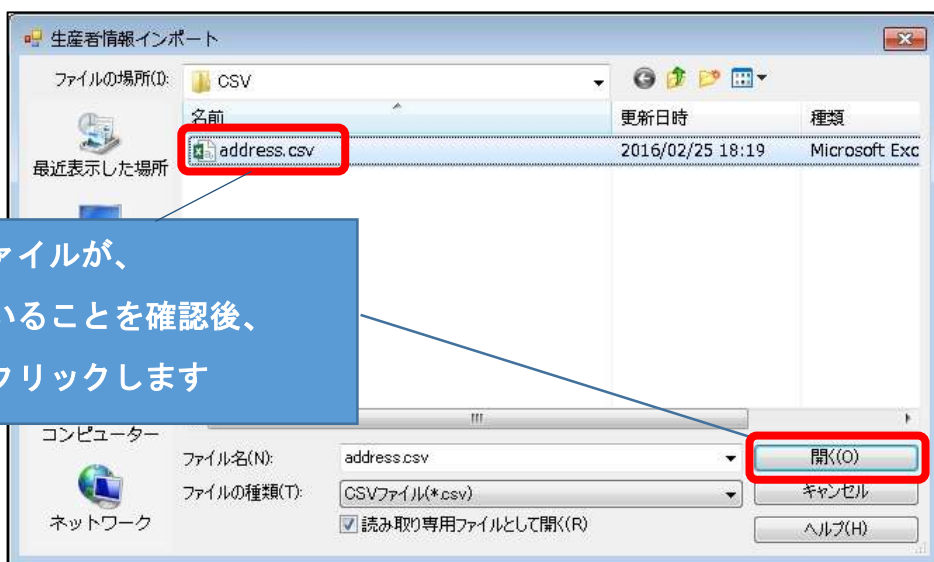


選択された CSV ファイルが開きます





フォーマットの異なるファイルのデータを
コピー&ペーストで貼り付けた後、保存します



保存したファイルが、
選択されていることを確認後、
「開く」をクリックします



生産者マスタにデータが
取り込まれますので、
「保存」をクリックします

【手入力で項目を追加する場合】

①追加するための行が足りない場合には、「追加」にて行を追加します

②生産者コード等の情報を入力します

③入力後、「保存」をクリックします

削	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA輪田	JA輪田支所	輪田	輪田	000-00-0000
	2	2	山田	JA袋井	JA袋井支所	袋井	袋井	111-11-1111
	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222
	4							

【手入力で項目を削除する場合】

②削除をクリックしますと、削除したい項目に「削」マークがつきます

①削除したい項目を選択します

③「保存」をクリックすると削除されます

削	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA輪田	JA輪田支所	輪田	輪田	000-00-0000
	2	2	山田	JA袋井	JA袋井支所	袋井	袋井	111-11-1111
削	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222

削除したい項目を選択して、ダブルクリックしても、「削」マークを付けることができます。再度ダブルクリックしますと一旦付けた「削」マークを取り消すこともできます。削除したい項目が複数ある場合は、上記①②の工程を繰り返すか、項目毎にダブルクリックを繰り返して、「削」マークを複数個所につけ、まとめて削除することができます。

[3] 肥料マスタ編集

<<本機能は、「営農指導版」のみ有効です。>>

肥料マスタテーブルに表示する肥料を、追加・削除することができます。

【項目を追加する場合】

①追加を押して、行を追加します

肥料マスタテーブル 編集

追加 削除

削	No	肥料名	N	P	K	基肥比率	追肥比率
	1	元肥1号	14	20	12	100	100
	2	元肥2号	10	24	16	100	100
	3	基肥1号	15	5	15	100	100
	4	基肥2号	15	5	15	100	100
	5	硫安	21	0	0	100	100
	6	尿素	46	0	0	100	100
	7	塩安	25	0	0	100	100
	8	過燐酸石灰(粒)	0	17	0	100	100
	9	塩化加里	0	0	60	100	100
	10	珪酸加里	0	0	20	100	100
	11	LPS775	17	17	15	60	40
	12	エムコート777	17	17	17	40	60
	13	セラコートワン777	15	15	15		
	14	ユーコート早生	16	16	16		
	15	有機ユーコート282	13	8	12		
	16	ハイセラコート	20	12	14		

②入力後、「保存」をクリックします

保存(A) 閉じる(c)

【項目を削除する場合】

②削除をクリックしますと、削除したい項目に「削」マークがつきます

肥料マスタテーブル 編集

追加 削除

削	No	肥料名	N	P	K	基肥比率	追肥比率
	1	元肥1号	14	20	12	100	100
	2	元肥2号	10	24	16	100	100
	3	基肥1号	15	5	15	100	100
	4	基肥2号	15	5	15	100	100
	5	硫安	21	0	0	100	100
	6	尿素	46	0	0	100	100
	7	塩安	25	0	0	100	100
	8	過燐酸石灰(粒)	0	17	0	100	100
	9	塩化加里					100
	10	珪酸加里					100
	11	LPS775	17	17	15	60	40
	12	エムコート777	17	17	17	40	60
	13	セラコートワン777	15	15	15		
削	14	ユーコート早生	16	16	16		
	15	有機ユーコート282	13	8	12		
	16	ハイセラコート	20	12	14		

①削除したい項目を選択します

③「保存」をクリックすると削除されます

保存(A) 閉じる(c)

削除したい項目を選択して、ダブルクリックしても、「削」マークを付けることができます。再度ダブルクリックしますと一旦付けた「削」マークを取り消すこともできます。削除したい項目が複数ある場合は、上記①②の工程を繰り返すか、項目毎にダブルクリックを繰り返して、「削」マークを複数個所につけ、まとめて削除することができます。

【肥料マスタ編集の項目について】

- ・ N/P/K
それぞれ肥料 100kg あたりに含まれている N（窒素）、P（リン）、K（カリウム）の含有量（kg）になります。
- ・ 基肥比率/追肥比率
それぞれ基肥として追加された場合、追肥として追加された場合に効果を示す割合を示しています。

基肥比率・追肥比率が 100（%）の肥料は速効性の肥料です。基肥・追肥のいずれかを使用したタイミングだけで、100（%）の N/P/K 効果を示すものになります。これに対し、基肥比率と追肥比率の合計値が 100（%）のものは、基肥として投入すると、基肥としても追肥としてもそれぞれ一定の割合（基肥比率および追肥比率の割合）で N/P/K 効果を示す緩効性の肥料になります。

[4] ランクマスタ編集

各測定器で測定した成分のランクを決定するための閾値などを変更することができます。また、境界線の扱いについても選択することができます。

NO	下限(≤)	上限(>)	ランク
1	無限小	14	1
2	14	145	3
3	145	15.6	5
4	15.6	16	3
5	16	無限大	1

【ランクの再計算について】

ランクマスタテーブル編集画面で「閉じる」ボタンをクリックすると、下記データ更新ウインドウの確認画面が出ます。

「はい」をクリックすると、再確認ウインドウが表示されます。

再確認ウインドウで「はい」をクリックすると現在のランクマスタテーブルの設定で、開いているデータファイルのデータが更新されます。

「いいえ」をクリックすると、ランクマスタ設定の変更は取り消され、データの更新も行わずに編集画面が閉じます。

※設定ファイルはデータベース毎に1つ（同じデータベース内の複数の玄米ファイルで1つ（=共有）。精米ファイルも同様）になります。

※開いているデータファイルの過去の測定データを更新したくない場合は、新しく「データベースの作成」を行い、各ランクマスタ設定を変更してからそれ以降の測定を実施してください。

データ更新

ランクマスタ設定を変更しますか？
（※変更すると、現在開いているデータファイルのデータは更新されます）

はい(Y) いいえ(N)

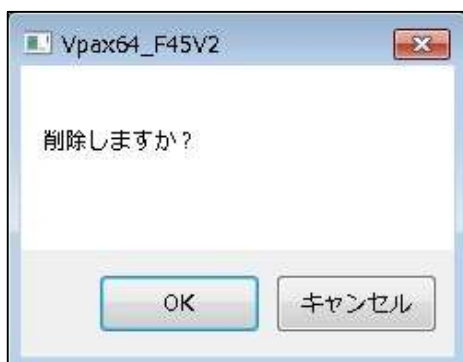
再確認

【再確認】
ランクマスタ設定を変更しますか？
（※変更すると、現在開いているデータファイルのデータは更新されます）

はい(Y) いいえ(N)

[5] 表示しているデータの削除

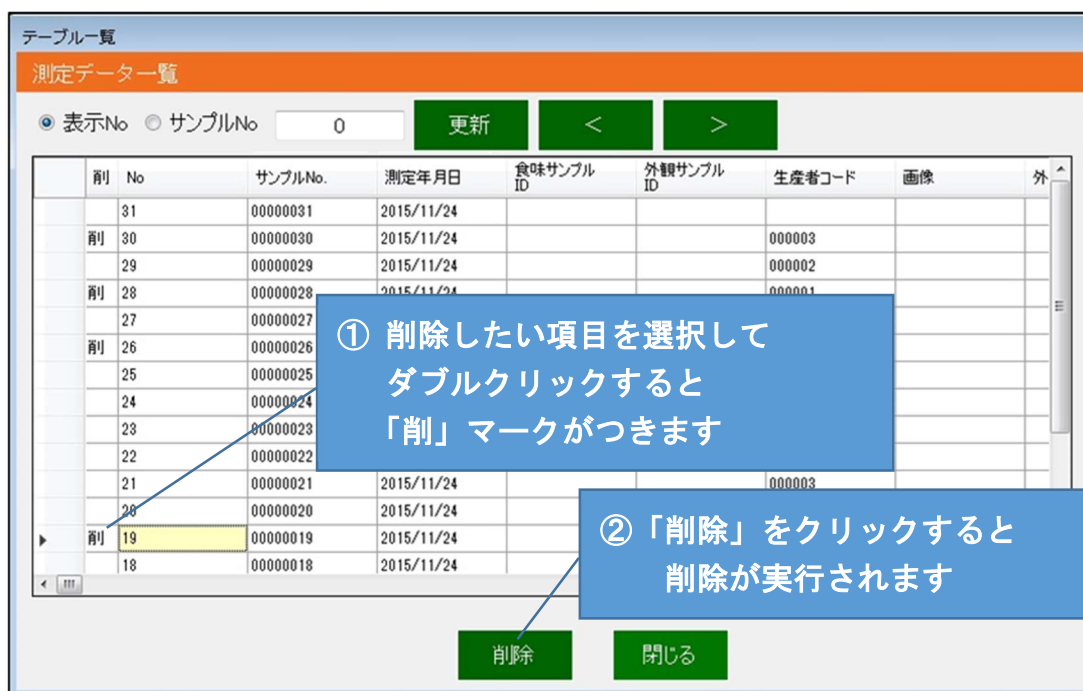
現在 GTRice 画面に表示している 1 個の測定データを削除できます。



測定データは測定をやり直すことで、上書きすることもできますが、間違えたデータが残っているような場合などに削除することもできます。データを削除したことにより、次に測定したいサンプル No. にズレが生じた場合には、(メニューバー⇒設定⇒自動採番設定) で次に測定するサンプル No. を指定してください。

[6] 一覧削除

現在 GTRice 画面に表示している測定データだけでなく、開いているデータ(ファイル)の中から複数項目を選択して削除することができます。



The screenshot shows the '測定データ一覧' (Measurement Data List) screen. At the top, there are radio buttons for '表示No' (selected) and 'サンプルNo', a text input field with '0', and buttons for '更新', '<', and '>'. Below is a table with columns: '削', 'No', 'サンプルNo.', '測定年月日', '食味サンプルID', '外觀サンプルID', '生産者コード', '画像', and '外'. The table contains data for sample numbers 31 down to 18. Row 19 is highlighted in yellow and has a '削' mark in the first column. A blue callout box with a circled '1' points to row 19, containing the text: '① 削除したい項目を選択してダブルクリックすると「削」マークが付きます'. Another blue callout box with a circled '2' points to the '削除' button at the bottom, containing the text: '② 「削除」をクリックすると削除が実行されます'. The '削除' and '閉じる' buttons are at the bottom of the screen.

削	No	サンプルNo.	測定年月日	食味サンプルID	外觀サンプルID	生産者コード	画像	外
	31	00000031	2015/11/24					
削	30	00000030	2015/11/24			000003		
	29	00000029	2015/11/24			000002		
削	28	00000028	2015/11/24			000001		
	27	00000027						
削	26	00000026						
	25	00000025						
	24	00000024						
	23	00000023						
	22	00000022						
	21	00000021	2015/11/24			000003		
	20	00000020	2015/11/24					
削	19	00000019	2015/11/24					
	18	00000018	2015/11/24					

【一覧削除の手順】

削除したいデータの「削」項目セルにおいて、ダブルクリックしますと「削」のマークが表示されて、削除対象となります。削除したいデータに「削」マークをつけてから「削除」をクリックしますと、複数のデータを一度に削除できます。

一度付いた「削」マークは、再度ダブルクリックしますと取り消すことができます。

測定データ一覧の各ページに表示できる測定データ数は、20個です。

「<」ボタン：前のページへ移動（20データ分戻る）します。

「>」ボタン：次のページへ移動（20データ分進む）します。

表示 No. もしくはサンプル No. を選択してから、番号を手入力し、

「更新」ボタンをクリックしますと、指定した番号のデータにジャンプできます。

[7]データ検索



サンプル No. に番号を手入力後、「検索」ボタンをクリックしますと、指定した番号の測定データにジャンプできます。

<食味品質評価票>

<<「食味分析計版」に食味品質評価票の印刷機能は搭載されていません>>

食味品質評価票 (玄米)							
サンプル情報							
サンプルNo	00000001		JA名	JA磐田			
測定年月日	2020/09/01		JA支所名	JA磐田支所			
生産者コード	00000001		品 種	コシヒカリ			
生産者名	鈴木		等 級	1等			
食味成分・特性							
測定項目	データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
水分	14.6	% 14.5~15.6%					☆
タンパク	7.4	% 7%以下				☆	
アミロース	17.6	% 18%以下					☆
脂肪酸度	11.0	% 16%以下					☆
スコア	78.0	80以上				☆	
食味格付	A						
外観品質							
測定項目	データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
整 粒	75.8	% 80以上				☆	
未熟粒	20.6	% 10%以下		☆			
被害粒	2.1	% 5%以下					☆
胴割粒	1.8	% 3%以下					☆
碎 粒	0.1	% 3%以下					☆
他被害	0.2	% 5%以下					☆
死 米	1.3	% 5%以下					☆
着色粒	0.2	% 0%以下			☆		
外観格付	B						

総合評価

B

静岡製機株式会社

良食味米
育成支援システム

※検査分類出力用診断書では、外観品質の項目が「検査分類」の項目（着色粒・死米・胴割粒・碎粒・白未熟粒・整粒）となります。

[2] 日報印刷

測定したデータを日付毎に選択して、日報印刷することができます。

また、日報印刷のウインドウの右上にある「詳細設定」をクリックすると、日報に印刷する項目の選択と各項目を印刷する際のセルの幅を調整することができます。

デフォルトでは、「データベース項目」の欄には主要な項目だけを表示してありますが、必要に応じて「全フィールド表示」をクリックすることで、詳細な項目が「データベース項目」に表示されるようになり、「印刷項目」に追加できるようになります。

< 日報 >

サンプルNo.	測定年月日	生産者コード	品種	等級	着色粒	死米	胴割粒	砕粒	白未熟粒	整粒	外觀格付
00000001	2020/09/01	00000001	コシヒカリ	1等	0.2	1.1	1.8	0.1	12.3	75.8	B
00000002	2020/09/01	00000002	ひとめぼれ	2等	0.0	2.4	2.4	2.0	11.5	64.2	A
00000003	2020/09/01	00000003	あきたこまち	2等	0.1	0.4	3.8	1.4	16.5	77.4	A
00000004	2020/09/01	00000001	あきたこまち	1等	0.2	1.3	1.5	3.1	22.3	79.8	B
00000005	2020/09/01	00000002	コシヒカリ	2等	0.0	3.4	2.8	4.5	11.5	66.2	A
00000006	2020/09/01	00000003	あきたこまち	1等	0.1	1.4	2.1	1.8	6.5	71.4	A
00000007	2020/09/01	00000001	ひとめぼれ	1等	0.2	1.8	3.1	4.1	2.3	79.8	B
00000008	2020/09/01	00000002	コシヒカリ	2等	0.0	2.6	3.4	3.5	14.5	61.2	A
00000009	2020/09/01	00000003	あきたこまち	1等	0.1	1.9	1.4	0.0	9.5	78.4	A
00000010	2020/09/01	00000001	ひとめぼれ	1等	0.2	1.5	1.7	0.7	8.3	65.8	B
00000011	2020/09/01	00000002	あきたこまち	2等	0.0	2.1	2.6	6.4	19.5	67.2	A
00000012	2020/09/01	00000003	ひとめぼれ	2等	0.1	1.0	2.9	8.3	13.5	72.4	A
00000013	2020/09/01	00000001	コシヒカリ	1等	0.2	0.3	3.3	5.1	12.8	82.8	B
00000014	2020/09/01	00000002	あきたこまち	1等	0.0	4.4	4.4	7.5	21.5	74.2	A
00000015	2020/09/01	00000003	コシヒカリ	1等	0.1	5.4	4.8	8.0	17.5	74.4	A

(5) 設定 (各種条件設定)

[1] 自動採番設定

サンプル No. を手入力で変更した場合や、データの削除によって次に測定するサンプル No. がズレた場合には、次に測定するサンプルのサンプル No. を設定することができます。



自動採番設定

最終番号

OK 閉じる

[2] 機器・通信設定

(メニューバー⇒設定⇒機器・通信設定)

接続機器と機器通信条件の変更ができます。

接続する機器を設定する場合には、データを「有」に変更し、使用する機器を選択します。

機器通信条件を設定する場合には、接続するポート(チャンネル)やボーレート(通信速度)などの通信条件を設定してください。

メニューバーの「設定」をクリックします

WGTRICE-2016年サンプル測定-玄米\$DATA

ファイル(F) データファイル入出力 編集(E) 印刷 設定

営農指導版

自動採番設定
機器・通信設定
システム設定

MAP Shizuoka Seiki Co., Ltd.

サンプル情報

サンプルNo.	00000001
測定年月日	2020/04/20
品種△	
等級△	

食味成分・特性値

食味成分・特性値	劣	普	良
水分			
タンパク			
アミロース			
脂肪酸度			
スコア			

表示項目 小分類

外観品質測定値	劣	普	良
整粒			
活青粒			
未熟粒			
乳白粒			
基部			
他未計			
ねじれ			
薄茶系			
被害粒			
発芽粒			
胴割粒			
横二条			
奇形粒			
砕粒			
斑点粒			
死米			
青死米			
着色粒			
全面着			
赤米			
その他			
他被害			

生産者情報 圃場情報 土壌管理 施肥情報 コメント 画像

生産者コード

生産者名

JA名

JA支所名

地区名

住所

電話番号

レーダーチャート

水分

タンパク

アミロース

脂肪酸度

スコア

食味格付

外観格付

総合評価

通信設定

接続機種構成

接続機器	データ	機種名
穀粒判別器	有	ES-5/ES-V
食味分析計	有	SGE/SRE
バーコードリーダー	無	

穀粒判別器の制御の項目は「有」を選択します

機器通信条件

接続機器	ポート	データ	パリティ	ストップビット	ボーレート	制御
穀粒判別器	1	8	None	One	9600	有
食味分析計	2	8	None	One	9600	無
バーコードリーダー		8	None	One	9600	無

閉じる

[3] システム設定

システムの各項目を設定できます。

システム設定

ファイルパスの設定

外部出力

<h5>印刷設定</h5> <p><input type="checkbox"/> 自動単票印刷 <input type="checkbox"/> 検査分類</p>	<h5>食味格付基準設定</h5> <p>玄米 <input checked="" type="radio"/> タンパク <input type="radio"/> スコア</p>	<h5>サンプルNo. 入力切替設定</h5> <p><input type="radio"/> 入力不可 <input checked="" type="radio"/> 入力可能</p>	<h5>外観格付表示切替設定</h5> <p><input checked="" type="radio"/> 表示 <input type="radio"/> 非表示</p>
--	---	---	--

レーダーチャート表示(玄米)

食味	<input type="text" value="水分ランク"/>	<input type="text" value="タンパクランク"/>	<input type="text" value="アミロースランク"/>	<input type="text" value="脂肪酸度ランク"/>	<input type="text" value="スコアランク"/>
外観	<input type="text" value="表示無し"/>	<input type="text" value="表示無し"/>	<input type="text" value="表示無し"/>	<input type="text" value="表示無し"/>	<input type="text" value="表示無し"/>

診断書コメント用閾値の設定

①窒素全量 <input type="text" value="8"/> kg	④登熟温度1 <input type="text" value="1100"/> 度	⑥水分上限値 <input type="text" value="16"/> %
②栽植密度 <input type="text" value="81"/> 株/坪 (中苗株数)	(着色粒・被害粒・胴割粒・砕粒用)	⑦水分下限値 <input type="text" value="13.9"/> %
③栽植密度 <input type="text" value="71"/> 株/坪 (成苗株数)	⑤登熟温度2 <input type="text" value="900"/> 度 (死米・未熟粒用)	

【ファイルパスの設定】

外部にデータを出力する際の出力先を指定することができます。

【印刷設定】

「自動単票印刷」の項目にチェックを入れると、サンプル測定後、「>」ボタンをクリックしますと、単票（食味品質評価票）が自動印刷されるように設定できます。

「検査分類」の項目にチェックを入れると、検査分類用の単票フォーマット（検査分類食味品質評価票）で自動印刷されます。

【食味格付基準設定】

玄米および精米の食味格付を決定するときに基準とする成分を選択（タンパク or スコア）することができます。

玄米・精米のうち、現在開いているファイル側の設定のみ表示されます。

【サンプル No. 入力切替設定】

サンプル No. の欄に手入力するかどうかを選択できます。

(手入力する場合、サンプル No. は 15 桁以内で入力してください。)

【外観格付表示切替設定】

外観格付の表示・非表示を切り替えることができます。

<外観格付の表示切替について>

外観格付の表示・非表示を切り替えると、下記データ更新ウィンドウの確認画面が出ます。

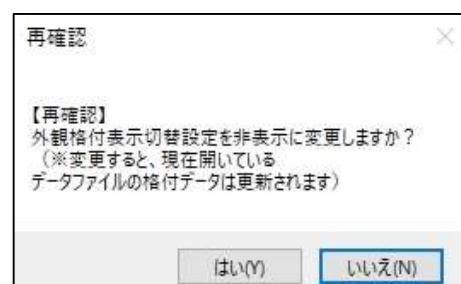
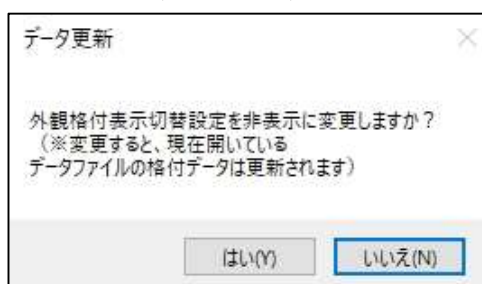
「はい」をクリックすると、再確認ウィンドウが表示されます。

再確認ウィンドウで「はい」をクリックすると現在開いているデータファイルの外観格付の表示/非表示が切り替わり、それに伴って総合評価の格付も変更されます。

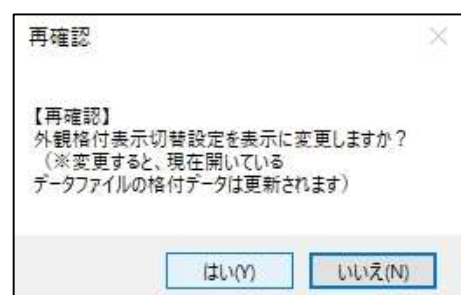
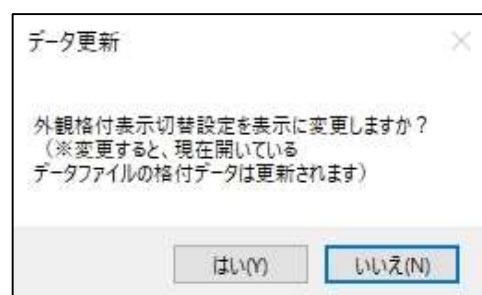
「いいえ」をクリックすると、外観格付表示切替設定の変更は取り消され、データの更新も行わずにシステム設定画面が閉じます。

※設定ファイルはデータベース毎に1つ(同じデータベース内の複数の玄米ファイルで1つ(=共有)。精米ファイルも同様)になります。
※開いているデータファイルの過去の測定データを更新したくない場合は、新しく「データベースの作成」を行い外観格付表示切替設定を変更してからそれ以降の測定を実施してください。

・外観格付を表示→非表示に切り替える場合



・外観格付を非表示→表示に切り替える場合



【レーダーチャート表示】

レーダーチャートに表示させる各成分を食味分析計および穀粒判別器において、それぞれ選択することができます。
(ただし、少なくとも合計4項目以上は表示成分を選択する必要があります。)

【診断書コメント用の閾値の設定】

診断書のコメント欄に表示されるコメントを決定するための閾値を変更することができます。

【食味格付の再計算について】

食味格付基準設定を変更してからシステム設定画面の「閉じる」ボタンをクリックすると、下記データ更新ウインドウの確認画面が出ます。

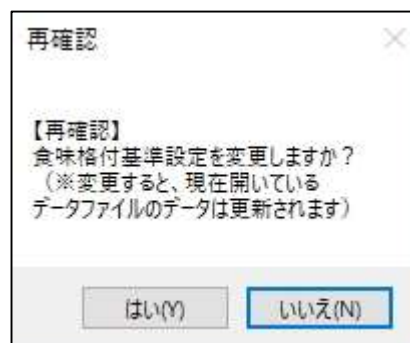
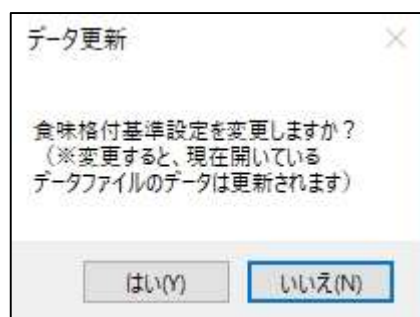
「はい」をクリックすると、再確認ウインドウが表示されます。

再確認ウインドウで「はい」をクリックすると現在開いているデータファイルのデータ（食味格付および総合評価）が更新されます。

「いいえ」をクリックすると、食味格付基準設定の変更は取り消され、データの更新も行わずにシステム設定画面が閉じます。

※設定ファイルはデータベース毎に1つ（同じデータベース内の複数の玄米ファイルで1つ（=共有）。精米ファイルも同様）になります。

※開いているデータファイルの過去の測定データを更新したくない場合は、新しく「データベースの作成」を行い、食味格付基準設定を変更してからそれ以降の測定を実施してください。



7. 診断書のコメント表示

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

(1) 診断書に表示されるコメントについて

[1] 営農指導版で使用することができる診断書機能です。

コメント欄に表示される営農指導用のコメントは、下表の各種条件によって決定します。

診断書のコメント内容には、「格付コメント」、「食味コメント」、「外観コメント」、「水分コメント」の4種類があります。
条件により、コメントの表示内容が決まります。

【各コメントの種類について】

1. 格付コメント：食味分析計と穀粒判別器の測定データから判定される格付によって決定するコメント
2. 食味コメント：窒素全量、透排水性、育苗様式、栽植密度などによって決定する食味に関するコメント
3. 外観コメント：病害虫、登熟温度などによって決定する外観に関するコメント
4. 水分コメント：食味分析計の水分値によって決定する水分に関するコメント

【診断書コメントの表示条件一覧】

食味格付	外観格付	参照・スタテール 診断書コメントの 「変換元」	コメント内容
A	—	A	食味は良いお米です。 更なる品質向上を目指してがんばってください。
A	A	AA	食味・外観共に良いお米です。 更なる品質向上を目指してがんばってください。
A	B	AB	食味は良いお米ですが、外観がやや劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
A	C	AC	食味は良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
A	D	AD	食味は良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
A	S	AS	外観は大変良いお米です。 食味も更なる品質向上を目指してがんばってください。
B	—	B	食味は普通のお米です。 食味品質の向上に努めてください。
B	A	BA	外観は良いお米ですが、食味は普通です。 食味の向上に努めてください。
B	B	BB	食味は普通ですが、外観がやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
B	C	BC	食味は普通のお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
B	D	BD	食味は普通のお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
B	S	BS	外観は大変良いお米です。 食味も更なる品質向上を目指してがんばってください。
C	—	C	食味がやや劣ります。 食味品質の向上に努めてください。
C	A	CA	外観は良いお米ですが、食味がやや劣ります。 食味の向上に努めてください。
C	B	CB	食味・外観ともやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
C	C	CC	外観が劣り、食味もやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
C	D	CD	外観が劣り、食味も劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
C	S	CS	外観は大変良いお米ですが、食味がやや劣ります。 食味も更なる品質向上を目指してがんばってください。
D	—	D	食味が劣ります。 食味品質の向上に努めてください。
D	A	DA	外観は良いお米ですが、食味が劣ります。 食味の向上に努めてください。
D	B	DB	食味が劣り、外観もやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
D	C	DC	食味・外観品質とも劣るお米です。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
D	D	DD	食味・外観品質とも劣るお米です。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
D	S	DS	外観は大変良いお米ですが、食味が劣ります。 食味の向上に努めてください。
S	—	S	食味は大変良いお米です。 これからも継続してがんばってください。
S	A	SA	食味は大変良いお米です。 外観も更なる品質向上を目指してがんばってください。
S	B	SB	食味は大変良いお米ですが、外観がやや劣ります。 外観品質向上を目指してがんばってください。
S	C	SC	食味は大変良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
S	D	SD	食味は大変良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
S	S	SS	食味・外観品質とも大変良いお米です。 これからも継続して頑張ってください。

	コメント内容	共通条件	個別条件
食味1	タンパクが高く食味を落としています。 施肥基準を守り、 特に出穂前10日を過ぎた 施肥は控えましょう。	・食味ランクがB以下 ・タンパクのランクがC以下	・窒素全量が 8kg(①窒素全量)以上
食味2	心土破碎や粗穀暗きよで 透排水性の改善に務めてください。		・透排水性が不良
食味3	栽培密度の基準を守ってください。 (中苗82株/坪・成苗72株/坪以上)		・育苗様式が中苗 ・株数が81(②栽植密度(中苗株数))以下
食味4	栽培密度の基準を守ってください。 (中苗82株/坪・成苗72株/坪以上)		・育苗様式が成苗 ・株数が71(③栽植密度(成苗株数))以下
外観1	病害虫により 着色粒が多くなっています。 健苗育成と病害虫の 早期発見・防除を行ってください。	・外観格付けがB以下 ・外観ランク(穀粒判別器 の測定結果)に C以下がある	・着色粒のランクがC以下 ・病害虫有り
外観2	刈り取りが遅く、 着色粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・着色粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観3	着色粒が多くなっています。 収穫後すみやかに乾燥し、 ヤケ米の発生を防止してください。		・着色粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観4	病害虫が発生し、被害が多いです。 健苗育成と病害虫の 早期発見・防除を行ってください。		・被害粒のランクがC以下 ・病害虫有り
外観5	刈り取りが遅く、 被害粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・被害粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観6	被害粒が多くなっています。 病害虫や 刈り取り適期に気をつけてください。		・被害粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観7	水分が低く 胴割粒が発生しています。 過乾燥に気をつけ 適正水分にしてください。		・胴割粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)以下
外観8	刈り取りが遅く、 胴割粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・胴割粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観9	胴割粒が多くなっています。 刈り取り遅れや 過乾燥に気をつけてください。		・胴割粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観10	水分が低く碎粒が発生しています。 過乾燥に気をつけ 適正水分にしてください。		・碎粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)以下
外観11	刈り取りが遅く、 碎粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・碎粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観12	碎粒が多くなっています。 刈り取り遅れや 過乾燥に気をつけてください。		・碎粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観13	刈り取りが早く、 死米が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・死米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)以下
外観14	適期刈り取りや 篩い目の選択に気をつけてください。		・死米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)より大きい
外観15	刈り取りが早く、 未熟粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・未熟米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)以下
外観16	未熟米が多くなっています。 適期刈り取りや 篩い目の選択に気をつけてください。		・未熟米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)より大きい
水分1	水分が高く カビの原因となります。 乾燥調整に注意してください。	無し	・水分が 16.0%(⑥水分上限値)以上
水分2	水分が低く 食味低下の原因となります。 過乾燥に注意してください。	無し	・水分が 13.9%(⑦水分下限値)以下

上表の①～⑦は、メイン画面のメニューバーを開いた、
システム設定内にある「診断書コメント用閾値の設定」の値になります。

8. トラブルシューティング

トラブル内容	対応方法
<p>(1) 測定器からのデータが表示されない（通信ができていない）</p>	<p>①通信ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。</p> <p>②GTRiceの測定器設定（測定器名およびデータの有無が「有」になっているか）が正しく設定されているか確認してください。 ⇒GTRiceのメニューバーの「設定」から「機器・通信設定」を開いて、「接続機種構成」の項目を確認してください。</p> <p>③通信設定（ポート（チャンネル）やボーレート、穀粒判別器では制御が「有」になっているかなど）が正しく設定されているか確認してください。 ⇒GTRiceの通信設定（メニューバーの「設定」から「機器・通信設定」を開いて「機器通信条件」の項目）を確認してください。 また、測定器の通信設定を確認し、ボーレート等がGTRiceの設定と合致しているか確認してください。</p> <p>④パソコンにシリアル変換アダプタのデバイスドライバをインストールしてあるか確認してください。</p>
<p>(2) 穀粒判別器での判別結果が、人の目で見えた判別結果と異なる</p>	<p>穀粒判別器の測定結果を、手入力で修正することができます。ただし、穀粒判別器の測定値を手入力で修正しても、仕様上変更結果は格付には反映されません。</p> <p>穀粒判別器の格付を変更したい場合には、直接格付欄に有効な格付値を入力してください。 （食味格付および総合格付の項目については、測定結果から自動計算されますので、手入力での変更はできません。）</p> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>手入力で測定値を変更した場合には、メーカー保証はできません。</p> </div>

(3) GTRice をアンインストールしたい

パソコンに付属のプロテクト用 USB メモリを接続し、GTRice_Setup フォルダにあるインストーラ (setup) を起動します。
画面に従って進み、選択項目で「削除」を選択してください。



(4) USB シリアル変換アダプタ用ドライバをアンインストールしたい

パソコンにプロテクト用 USB メモリを接続し、GTRice_Setup フォルダ内の USB シリアル変換アダプタフォルダを開きます。インストールの時に使用したのと同じ「USB60F_Setup」をダブルクリックで起動します。
画面に従って進み、選択項目で「削除」を選択してください。



(5)GTRice が正常に動作しなくなってしまった場合のリカバリー

GTRice ソフトが起動していない状態で実行してください。

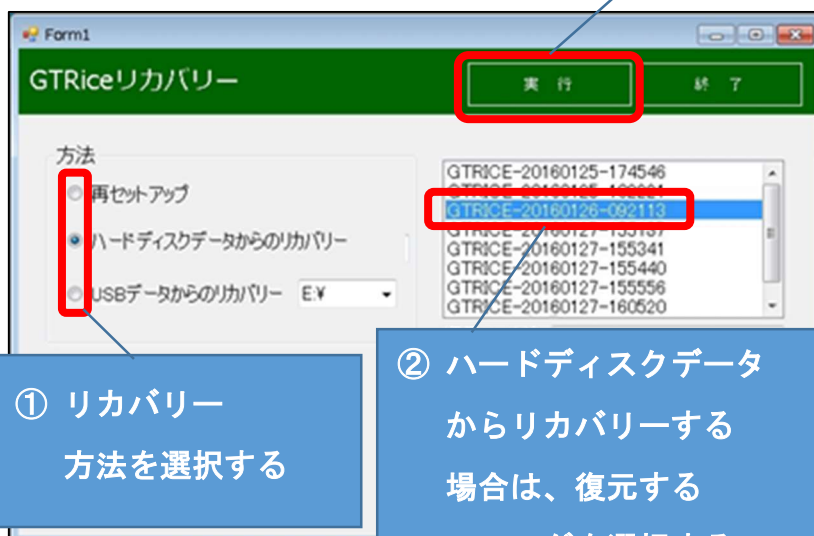
GTRice のバックアップデータを使って、前の状態にリカバリー、または初期設定で再セットアップすることができます。

プロテクト用 USB メモリ内の「GTRice_Setup」フォルダにある「GTRiceRecovery」フォルダを開きます。

「GTRiceRecovery」をダブルクリックで起動します。

- ①実行したい項目を選択します。
- ②復元するフォルダを選択します。
- ③「実行」ボタンをクリックします。

③「実行」ボタンをクリックする



① リカバリー方法を選択する

② ハードディスクデータからリカバリーする場合は、復元するフォルダを選択する

再セットアップ：初回インストールと同じです。
測定データは空の状態です。

再度セットアップをやり直したい場合や、バックアップされているデータを使用しても正常に動作しない場合に、使用します。

ハードディスクデータからリカバリー：

パソコンのハードディスクに保持されている直近の 30 個のバックアップデータの中から、選択してリカバリーを行います。

(フォルダ名は GTRice 終了時の日付と日時です。)

例えば、「GTRICE-20160126-092113」は
2016 年 1 月 26 日の 9 時 21 分 13 秒に、
GTRice を終了したときのバックアップデータになります。
データは、下位にいくほど日付は新しくなります。

USB データからリカバリー (※緊急事態用)：

基本的には、ハードディスクからのリカバリーのほうを使用してください。

USB データからのリカバリーでは、ハードディスクが壊れてしまうなどの非常事態の際に、プロテクト用 USB メモリ内に保存されているバックアップデータ (**※直近で使用・保存されていたデータベース 1 つだけ**) を使い、リカバリーを実行します。

(復元フォルダの欄に、直近で使用・保存していたデータベースが表示されます。)

【プロテクト用 USB メモリのバックアップデータについて】

緊急用に使用することを目的としているため、
プロテクト用 USB メモリからのリカバリーで復元できるのは、直近で使用・保存していたデータベースのデータのみです。

(※前回 GTRice 終了時のプロテクト用 USB メモリへの保存の際に、「USB メモリへの画像保存」にチェックを入れずに保存していた場合は、画像タブに保存していた画像は保存されておりませんので、リカバリー後のものに、画像タブの画像は復元されません。)

また、過去に別のデータベースで保持されていたデータも復元できません。

(6) 表示項目の追加や表示するタブの変更をしたい

ただし、表示するタブの変更は「営農指導版」のみ可

(5) 「GTRice が正常に動作しなくなってしまった場合のリカバリー」において、「再セットアップ」を選択・実行しますと、新しくデータベースを構成することにより、表示するタブを新たに作成することができます。

これまでに測定したデータは、元のデータベースに保管されます。

**表示項目やタブの追加のための再セットアップは、できるだけ年度更新など大きな区切りになるところで実施するようにしてください。
測定途中で再セットアップしますと、再セットアップ前のデータとの整合性が取れなくなってしまいます。**

連絡先

本ソフトに異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、
購入先または下記へ連絡してください。

- ◎ 製品の修理・お取扱いのご相談ならびにご依頼は、
最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社

農機営業部 《〒437-1121》静岡県袋井市諸井1300
TEL 〈0538〉23-2822 FAX 〈0538〉23-2890

北海道営業所	〒007-0804	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	TEL 〈011〉781-2234
東北営業所	〒989-6136	宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	TEL 〈0229〉23-7210
新潟営業所	〒950-0923	新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	TEL 〈025〉287-1110
関東営業所	〒302-0017	茨城県取手市桑原1424-1	TEL 〈0297〉73-3530
中部営業所	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300番地 営業棟1階	TEL 〈0538〉23-1725
北陸営業所	〒920-0365	石川県金沢市神野町東52	TEL 〈076〉249-6177
関西営業所	〒661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	TEL 〈06〉6432-7890
中四国営業所	〒700-0975	岡山市北区今2丁目8-12	TEL 〈086〉244-4123
九州営業所	〒835-0004	福岡県みやま市瀬高町山門1841-1	TEL 〈0944〉88-9793

ホームページアドレス <https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

2024-04-05
07293 200 001J